

調布市の環境に関する  
中学生アンケート調査結果  
報 告 書

～調布市環境基本計画策定に向けて～

平成 27 年 10 月

調 布 市



# 目 次

第1章 調査概要	1
1 調査目的	3
2 調査内容	3
3 調査方法と期間	3
第2章 調査結果	5
1 基礎的事項（属性等）	7
2 環境を守るための行動について	10
3 環境を守るために大切だと思うこと	24
4 環境に関する問題点と改善（解決）策	36
5 まとめ	49
第3章 資料編	51
1 配布したアンケート調査票	53
2 調査結果詳細（クロス集計結果等）	59
（1）環境を守るための行動	61
（2）環境を守るために大切だと思うこと	121



# 第 1 章 調査概要



## 第1章 調査概要

### 1 調査目的

本調査は、未来の調布の環境に大きく貢献できる可能性のある中学生が、環境を守るためにどのような取組をしているのか、またどのようなことが大切だと思っているかを調査し、次期調布市環境基本計画策定に向けた基礎資料とするため実施した。

### 2 調査内容

調査は、以下の内容についてアンケートを実施した。

なお、調査票は、資料編 55～58 ページに示す。

- ① 基礎的事項
- ② 環境を守るための行動について
- ③ 環境を守るために大切だと思うこと
- ④ 環境に関する問題点と改善（解決）策

### 3 調査方法と期間

#### (1) 調査対象生徒

調布市立中学校に在学する生徒のうち、入学直後の1年生及び高校受験等を控えた3年生への配慮を考慮し、2年生を対象生徒に限定した。

#### (2) 配布と回収

アンケート調査票の各学校への配布・回収は交換便によって行った。

#### (3) 回収期間

回収期間：平成27年5月25日～平成27年6月5日

#### (4) 回答状況

学校別・性別のアンケート回答状況を表1.3.1に示す。

表 1.3.1 アンケート回答状況

学校名	回答者数			
	男	女	未回答	計
調布市立調布中学校	89	79	4	172
調布市立神代中学校	112	95	10	217
調布市立第三中学校	84	97	3	184
調布市立第四中学校	35	48	1	84
調布市立第五中学校	110	102	11	223
調布市立第六中学校	64	54	1	119
調布市立第七中学校	62	50	0	112
調布市立第八中学校	50	46	3	99
合計	606	571	33	1,210



## 第2章 調査結果



## 第2章 調査結果

調査結果中の図表中に記載した比率は、小数点以下第2位を四捨五入しているため百分率の合計が100%にならない場合があり、合計表示と一致しない場合がある。

### 1 基礎的事項（属性等）

#### (1) 性別

設問	質問	回答（○印をつけてください）
1	性別	①男子生徒 ②女子生徒

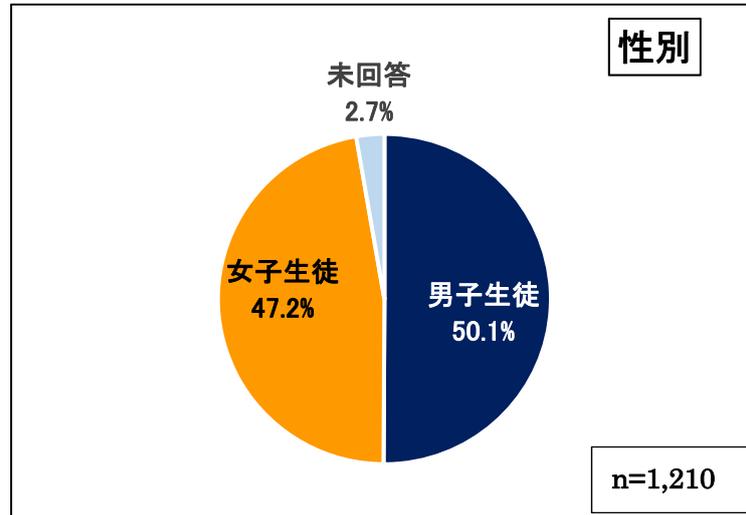


図 2.1.1 性別

・性別は、男子生徒 50.1%、女子生徒 47.2%、未回答が 2.7%と男子生徒がやや多かった。

#### (2) 調布市内に住んでいる期間

設問	質問	回答（○印をつけてください）
2	調布市内に住んでいる期間	①生まれたときから ②小学校入学前に転入 ③小学校卒業前に転入 ④中学校入学後に転入

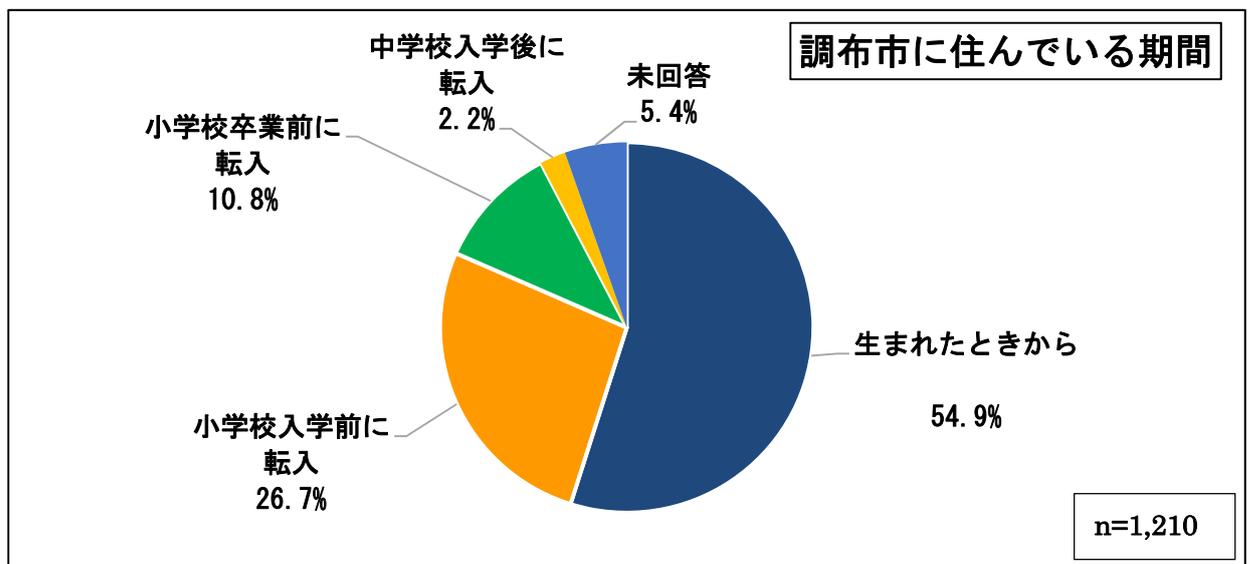


図 2.1.2 調布市内に住んでいる期間

・調布市内に住んでいる期間が「生まれたときから」の回答者は 54.9%を占めた。

(3) 地域区分別回答状況

地域による回答差があるのかを検証するため、便宜的に8中学校を2中学校ずつ、以下のとおり東西南北での地域別に分類した。地域別の性別・居住期間別回答状況を表2.1.1(1)～(2)及び図2.1.3に示す。

表 2.1.1(1) 地域区分別回答状況(性別)

地域区分	学校名	性別			
		男子生徒	女子生徒	未回答	合計
東部地域	調布市立第四中学校	35	48	1	84
	調布市立第八中学校	50	46	3	99
	地域合計	85	94	4	183
西部地域	調布市立調布中学校	89	79	4	172
	調布市立第五中学校	110	102	11	223
	地域合計	199	181	15	395
南部地域	調布市立第三中学校	84	97	3	184
	調布市立第六中学校	64	54	1	119
	地域合計	148	151	4	303
北部地域	調布市立神代中学校	112	95	10	217
	調布市立第七中学校	62	50	0	112
	地域合計	174	145	10	329
合 計		606	571	33	1,210

表 2.1.1(2) 地域区分別回答状況(居住期間別)

地域区分	学校名	居住期間					未回答	合計
		生まれたときから	小学校入学前に転入	小学校卒業前に転入	中学校入学後に転入			
東部地域	調布市立第四中学校	50	21	8	3	2	84	
	調布市立第八中学校	60	20	12	1	6	99	
	地域合計	110	41	20	4	8	183	
西部地域	調布市立調布中学校	93	38	25	4	12	172	
	調布市立第五中学校	112	65	22	4	20	223	
	地域合計	205	103	47	8	32	395	
南部地域	調布市立第三中学校	112	48	15	4	5	184	
	調布市立第六中学校	62	41	7	2	7	119	
	地域合計	174	89	22	6	12	303	
北部地域	調布市立神代中学校	109	64	28	5	11	217	
	調布市立第七中学校	66	26	14	4	2	112	
	地域合計	175	90	42	9	13	329	
合 計		664	323	131	27	65	1,210	

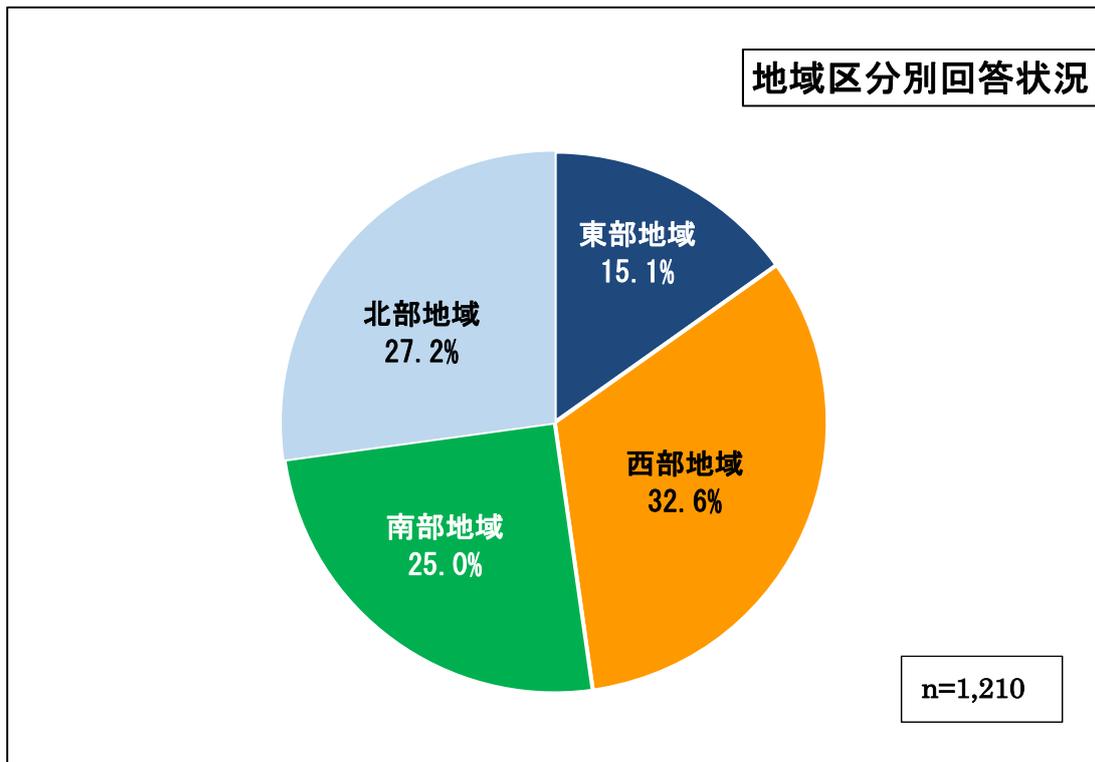


図 2.1.3 地域区分別回答状況

- ・ 西部地域が 32.6%と最も多く，東部地域が 15.1%と最も少なかった。

2 環境を守るための行動について（アンケート調査票当該設問部分）

1. あなたが実施している、環境を守るための行動について教えてください。下の項目について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

【記入例】

あなたの考えに最も近いものに○印を1つつけてください。

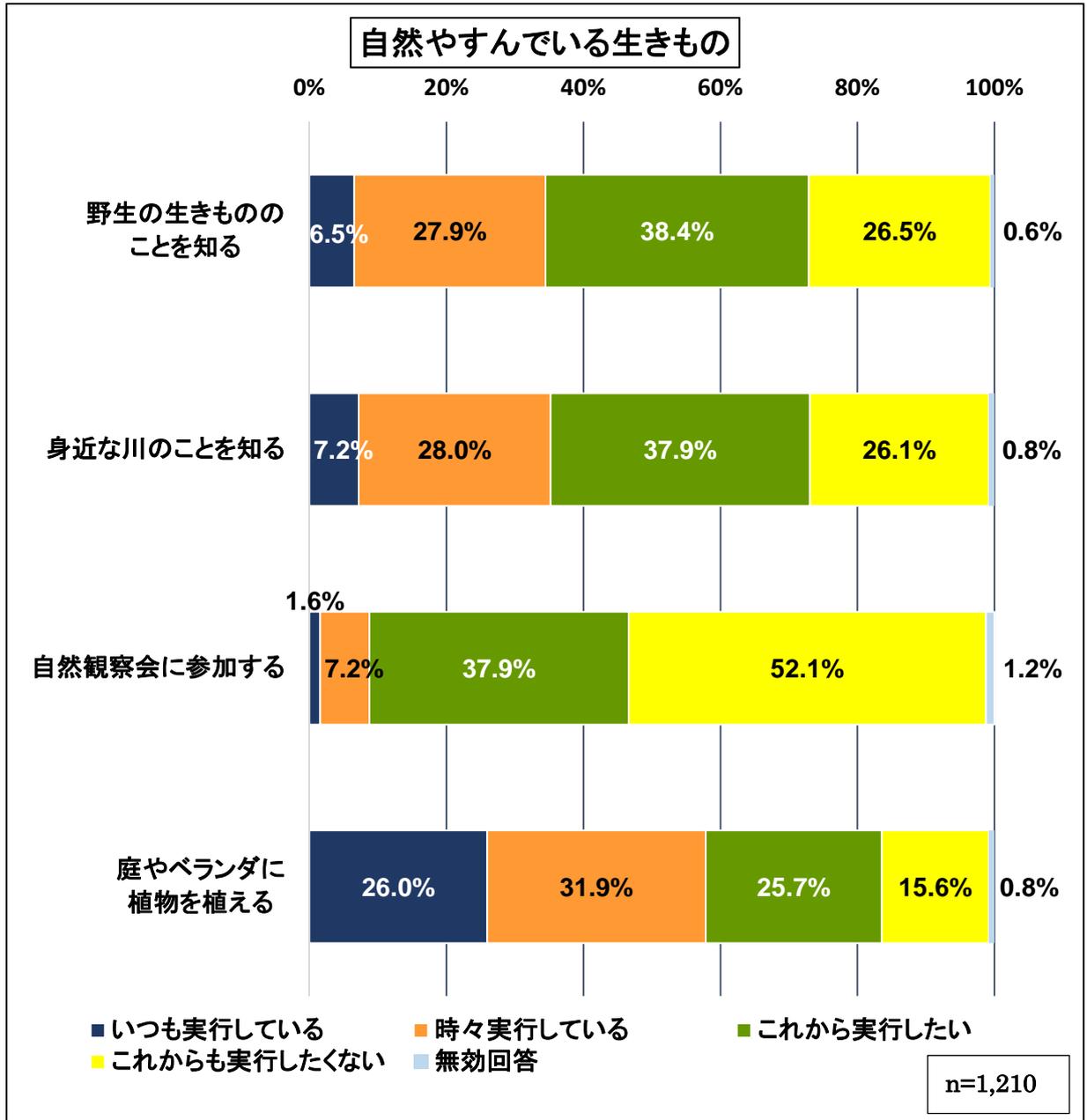
分 類	項 目	いつも実行 している	時々実行 している	これから 実行したい	これからも実行 したくない
ア 自然やすんでいる生きものについて	野生の生きもののことを知る	○			

分 類	項 目	いつも実行 している	時々実行 している	これから 実行したい	これからも実行 したくない
ア 自然やすんでいる 生きものについて 	野生の生きもののことを知る				
	身近な川のことを知る				
	自然観察会に参加する				
	庭やベランダに植物を植える				
イ すみやすく美しい まちについて 	自転車は決められた場所に駐輪する				
	農業体験や環境ボランティアに参加する				
	公園や川、家の周りのごみ拾いをする				
	決められた場所以外にごみを捨てない				
ウ 安心してらせる 生活の環境 について 	油や食べ残しの汚れを流しに直接ながさない				
	夜遅くに、大きな音を出さない				
エ 省エネについて 	使っていない部屋の電気を消す				
	室内温度を冷房時 28℃、暖房時 20℃を目安に温度設定する				
	テレビやパソコンを使用しないときは電源を切る				
	暑さ対策のためグリーンカーテン（ゴーヤ等）を育てる				
	水を流しっぱなしにしない				

分 類	項 目	いつも実行 している	時々実行 している	これから 実行したい	これからも実行 したくない
オ 3R（ごみを出さない、繰り返し使う、材料として再利用する） について 	レジ袋をもらわないようにする				
	ごみは分別して捨てる				
	エコマークなどが表示されたリサイクル商品を買う				
カ みんなの力でより良い環境をめざす取組 について 	環境について学習する				
	多摩川自然情報館(※)などが開催する環境のイベントに参加する				

※多摩川自然情報館とは：調布市染地にある調布市の施設です。環境に関するイベント等を行なっています。

(1) 自然やすんでいる生きもの



注：未回答（空欄）及び重複回答を無効回答とした。

図 2.2.1 環境を守るための行動（自然やすんでいる生きもの）

環境を守るための行動（自然やすんでいる生きもの）の集計結果について以下に示す。

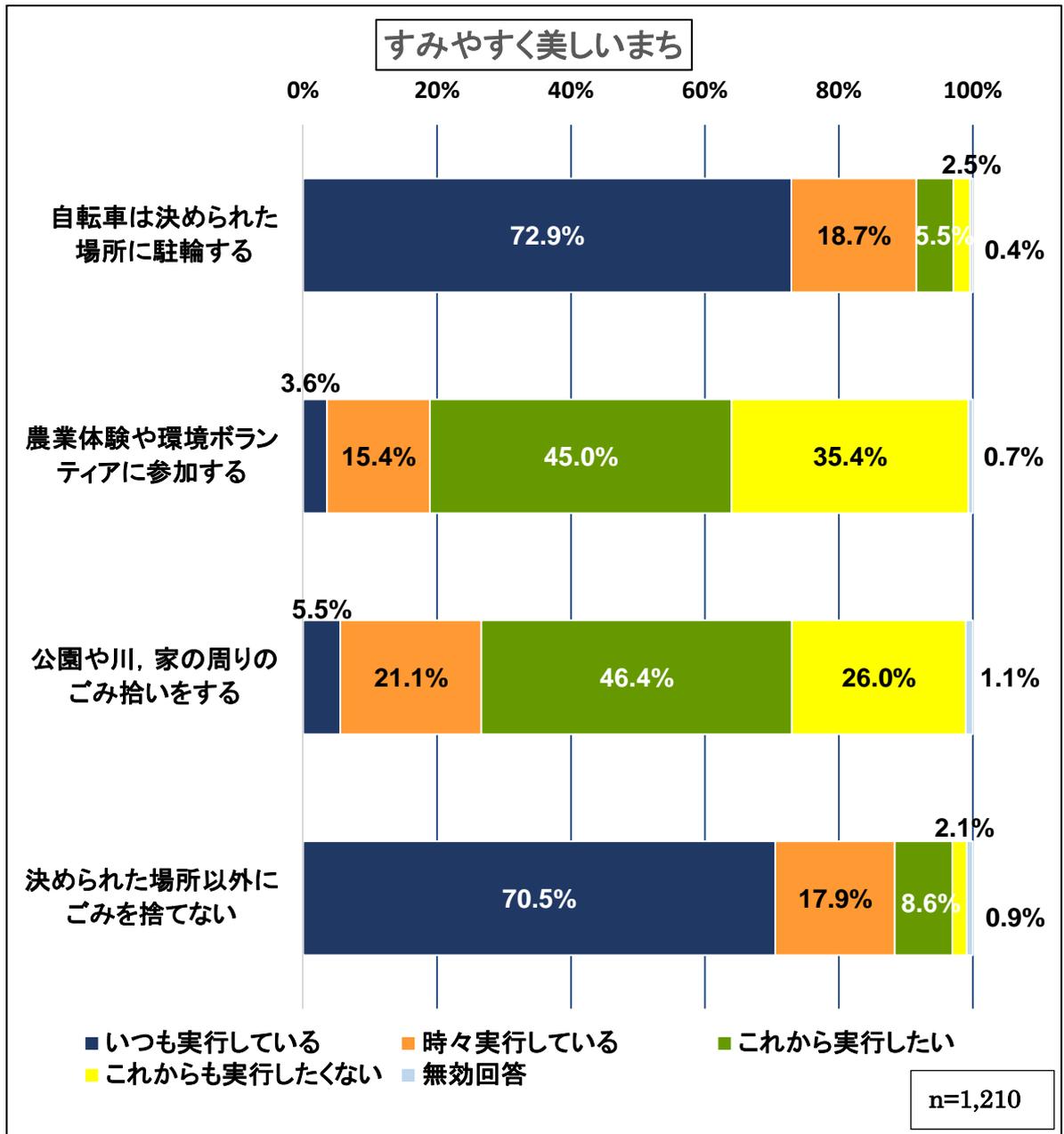
<全体集計結果>

- ・「野生の生きものを知る」についてみると、高かったのは「これから実行したい」（38.4%）で、次いで「時々実行している」（27.9%）、「これからも実行したくない」（26.5%）となり、「いつも実行している」（6.5%）が最も低かった。
- ・「身近な川のことを知る」についてみると、高かったのは「これから実行したい」（37.9%）で、次いで「時々実行している」（28.0%）、「これからも実行したくない」（26.1%）となり、「いつも実行している」（7.2%）が最も低かった。
- ・「自然観察会に参加する」についてみると、高かったのは「これからも実行したくない」（52.1%）で、次いで「これから実行したい」（37.9%）、「時々実行している」（7.2%）となり、「いつも実行している」（1.6%）が最も低かった。
- ・「庭やベランダに植物を植える」についてみると、高かったのは「時々実行している」（31.9%）で、次いで「いつも実行している」（26.0%）、「これから実行したい」（25.7%）となり、「これからも実行したくない」（15.6%）が最も低かった。
- ・以上の結果から、情報・知識として自然に関する興味を示す生徒は70%を超えていたが、実際に観察会に参加しようと思っている生徒は全体の50%弱であることが確認できた。

<クロス集計結果（資料編 61～72 ページ参照）>

- ・「野生の生きものを知る」についてみると、性別では、「いつも実行している」と「時々実行している」を合わせた比率は女子生徒（27.4%）よりも男子生徒（40.8%）の方が高いが、「これから実行したい」を含めると、女子生徒（71.2%）と男子生徒（75.1%）はほぼ同じ割合となった。居住期間別では、「いつも実行している」と「時々実行している」を合わせた比率は、中学校入学後に転入した生徒（51.8%）が最も高かった。地域区分別では、南部地域において「これからも実行したくない」の比率が30.7%で最も高く、北部地域で24.6%と最も低かった。
- ・「身近な川のことを知る」についてみると、性別では、「いつも実行している」と「時々実行している」を合わせた比率は女子生徒（30.1%）よりも男子生徒（40.1%）の方が高いが、「これから実行したい」を含めると、女子生徒（73.0%）と男子生徒（73.6%）はほぼ同じ割合となった。居住期間別では、「いつも実行している」と「時々実行している」を合わせた比率は、小学校卒業前に転入した生徒（42.0%）が最も高かった。地域区分別では、南部地域において「これからも実行したくない」の比率が29.4%で最も高く、北部地域で24.0%と最も低かった。
- ・「自然観察会に参加する」についてみると、性別では、「いつも実行している」と「時々実行している」を合わせた比率は女子生徒（7.7%）より男子生徒（9.4%）の方が高いが、「これから実行したい」を含めると、男子生徒（44.5%）より女子生徒（49.6%）の方が高い比率となった。居住期間別では、「いつも実行している」と「時々実行している」を合わせた比率は、中学校入学後に転入してきた生徒（11.1%）が最も高かった。地域区分別では、南部地域において「これからも実行したくない」の比率が58.1%で最も高く、東部地域で47.5%と最も低かった。
- ・「庭やベランダに植物を植える」についてみると、性別では、「いつも実行している」と「時々実行している」を合わせた比率は男子生徒（52.0%）より女子生徒（64.3%）の方が高かった。居住期間別では、「いつも実行している」と「時々実行している」を合わせた比率は、中学校入学後に転入してきた生徒（66.6%）が最も高かった。地域区分別では、西部地域において「これからも実行したくない」の比率が18.7%で最も高く、東部地域で10.9%と最も低かった。

(2) すみやすく美しいまち



注：未回答（空欄）及び重複回答を無効回答とした。

図 2.2.2 環境を守るための行動（すみやすく美しいまち）

環境を守るための行動（すみやすく美しいまち）の集計結果について以下に示す。

<全体集計結果>

- ・「自転車は決められた場所に駐輪する」についてみると、高かったのは「いつも実行している」(72.9%)で、次いで「時々実行している」(18.7%)、「これから実行したい」(5.5%)となり、「これからも実行したくない」(2.5%)が最も低かった。
- ・「農業体験や環境ボランティアに参加する」についてみると、高かったのは「これから実行したい」(45.0%)で、次いで「これからも実行したくない」(35.4%)、「時々実行している」(15.4%)となり、「いつも実行している」(3.6%)が最も低かった。
- ・「公園や川、家の周りのごみ拾いをする」についてみると、高かったのは「これから実行したい」(46.4%)で、次いで「これからも実行したくない」(26.0%)、「時々実行している」(21.1%)となり、「いつも実行している」(5.5%)が最も低かった。
- ・「決められた場所以外にごみを捨てない」についてみると、高かったのは「いつも実行している」(70.5%)で、次いで「時々実行している」(17.9%)、「これから実行したい」(8.6%)となり、「これからも実行したくない」(2.1%)が最も低かった。
- ・以上の結果から、「駐輪」や「ごみを捨てない」といった、マナーやルールに基づく行為については、90%前後の生徒が「いつも」あるいは「時々」実行しており、高い意識を持って実践していることが確認できた。
- ・また、「農業体験や環境ボランティアに参加する」、「公園や川、家の周りのごみ拾いをする」といった自発的な行為については、「いつも実行している」「時々実行している」の合計は、それぞれ約20%であったが、「これから実行したい」を含めると60%以上となり、半数以上の生徒が関心を持っていることが確認できた。

<クロス集計結果（資料編73～84ページ参照）>

- ・「自転車は決められた場所に駐輪する」についてみると、性別では、「いつも実行している」と「時々実行している」を合わせた比率は男子生徒(88.8%)よりも女子生徒(94.8%)の方が高かった。居住期間別での差異は2%以内となっており、期間による大きな違いは認められなかった。地域区分別では、西部地域において「これからも実行したくない」の比率が3.8%と最も高かった。
- ・「農業体験や環境ボランティアに参加する」についてみると、性別では、「いつも実行している」と「時々実行している」を合わせた比率は男子生徒(17.5%)よりも女子生徒(20.4%)の方が高かった。居住期間別では、「いつも実行している」と「時々実行している」を合わせた比率は中学校入学後に転入した生徒が11.1%で最も低かった。地域区分別では、南部地域において「これからも実行したくない」の比率が39.3%と最も高かった。
- ・「公園や川、家の周りのごみ拾いをする」についてみると、性別では、「いつも実行している」と「時々実行している」を合わせた比率は女子生徒(24.9%)よりも男子生徒(28.7%)の方が高かった。居住期間別では、「いつも実行している」と「時々実行している」を合わせた比率は中学校入学後に転入した生徒が22.2%で最も低かったが、その他は26.5%～28.2%の間にあり、全体としては大きな違いは認められなかった。地域区分別では、南部地域において「これからも実行したくない」の比率が29.0%と最も高かったが、全体としては大きな違いは認められなかった。
- ・「決められた場所以外にごみを捨てない」についてみると、性別では、「いつも実行している」と「時々実行している」を合わせた比率は男子生徒(85.2%)よりも女子生徒(92.8%)の方が高かった。居住期間別では、「いつも実行している」と「時々実行している」を合わせた比率は小学校卒業前に転入した生徒が93.9%で最も高かった。地域区分別では、「いつも実行している」の比率が、いずれの地域も65%を超えており、中でも南部地域において75.2%と最も高かった。

(3) 安心してらせる生活の環境

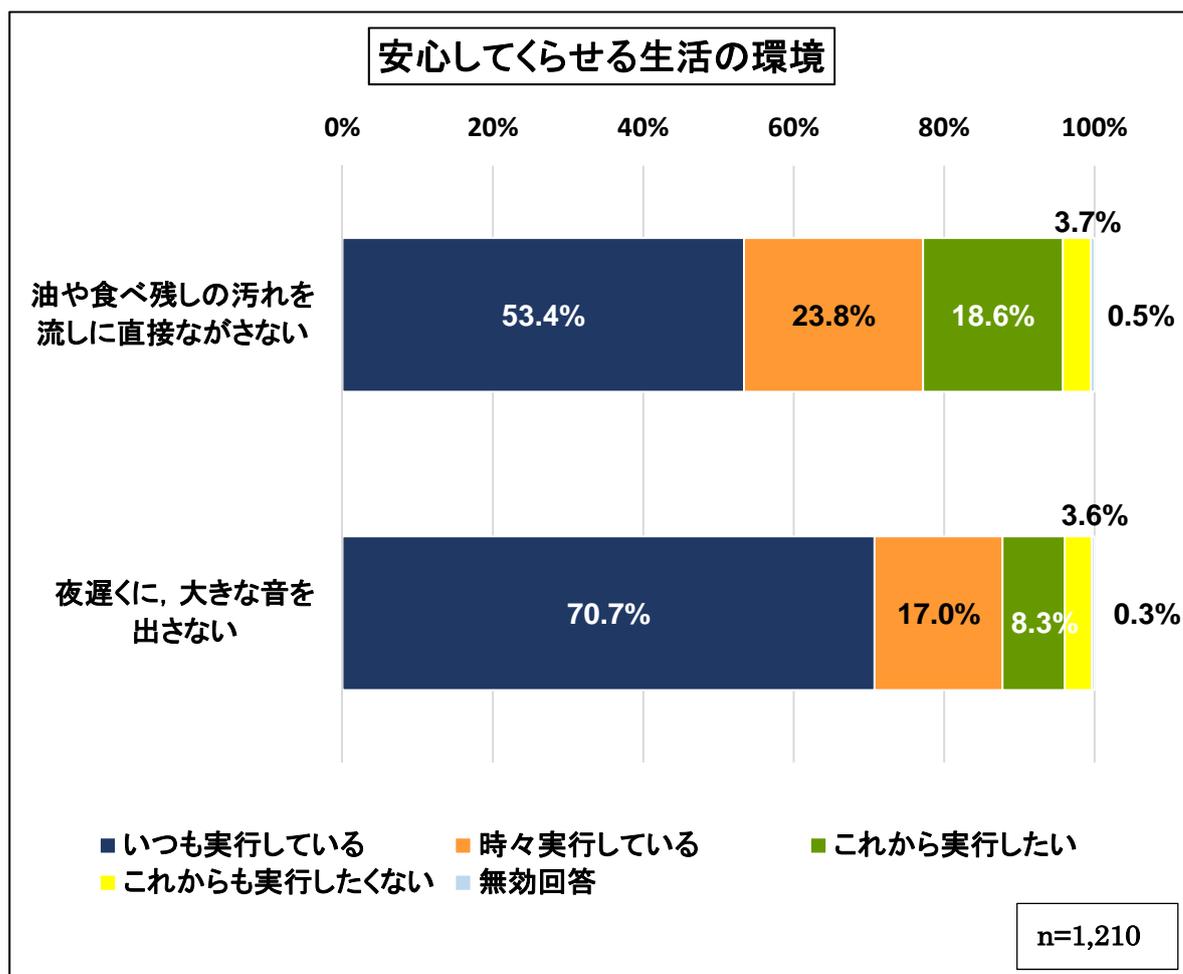


図 2.2.3 環境を守るための行動（安心してらせる生活の環境）

環境を守るための行動（安心してらせる生活の環境）の集計結果について以下に示す。

<全体集計結果>

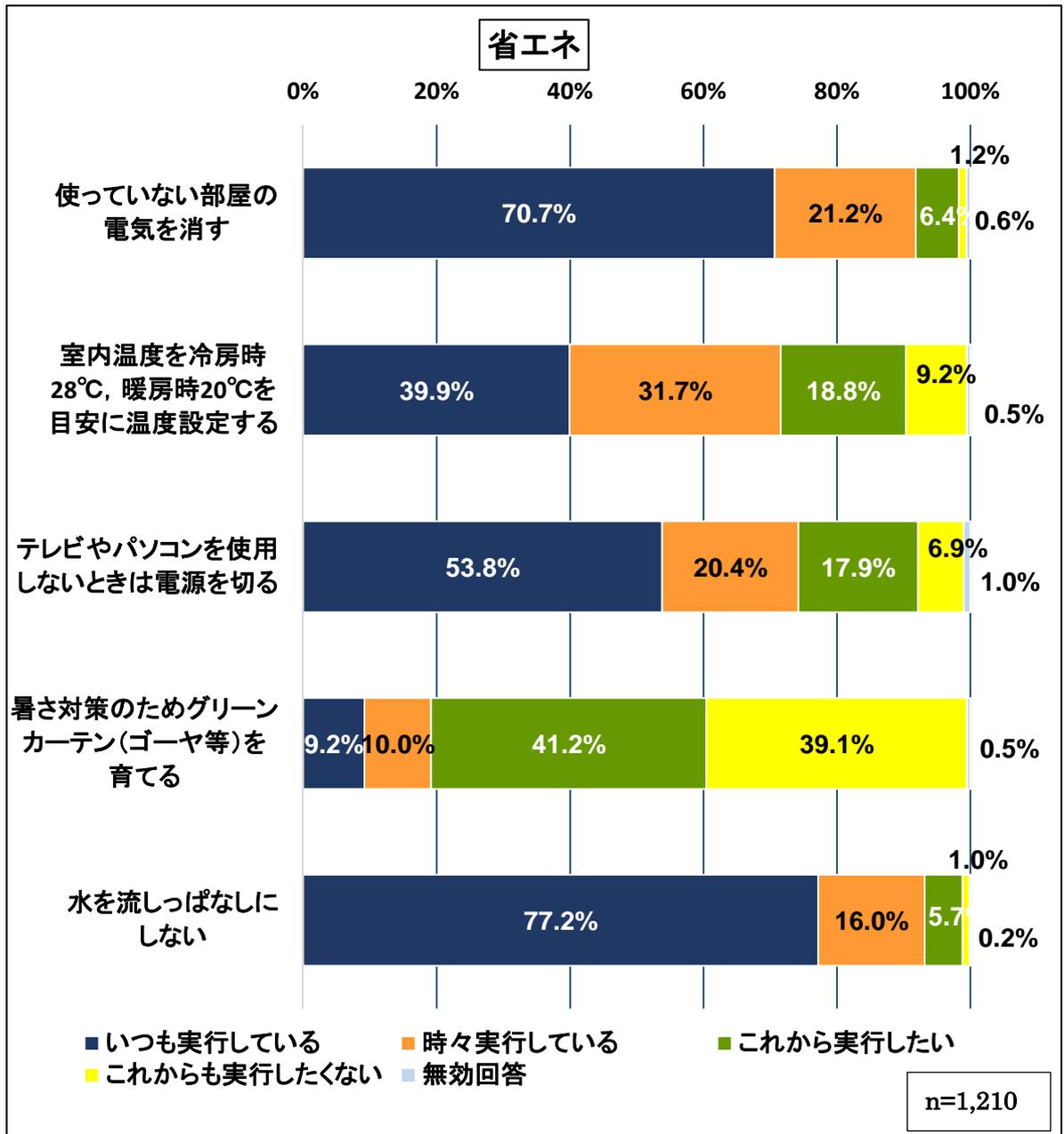
- ・「油や食べ残しの汚れを流しに直接ながさない」についてみると、高かったのは「いつも実行している」(53.4%)であり、次いで「時々実行している」(23.8%)、「これから実行したい」(18.6%)となり、「これからも実行したくない」(3.7%)が最も低かった。
- ・「夜遅くに、大きな音を出さない」についてみると、高かったのは「いつも実行している」(70.7%)であり、ついで「時々実行している」(17.0%)、「これから実行したい」(8.3%)となり、「これからも実行したくない」(3.6%)が最も低かった。
- ・以上の結果から、水質保全の取組や他人に迷惑をかけない取組など、生活環境の保全について「いつも実行している」と「時々実行している」の合計は70%強から90%弱と高い割合で実行していることが確認できた。

<クロス集計結果（資料編 85～90 ページ参照）>

- ・「油や食べ残しの汚れを流しに直接ながさない」についてみると、性別では、「いつも実行している」と「時々実行している」を合わせた比率は男子生徒（75.2%）よりも女子生徒（80.4%）の方が高かった。また、居住期間別では、小学校入学前に転入した生徒が82.9%で最も高かった。地域区別では、南部地域が73.2%で他の地域と比較してやや低いほかは、地域間による大きな違いは認められなかった。

- ・「夜遅くに、大きな音を出さない」についてみると、「いつも実行している」と「時々実行している」を合わせた比率は男子生徒（86.6%）よりも女子生徒（90.2%）の方が高かった。居住期間別では、「いつも実行している」比率が、生まれた時から（73.2%）年齢を経るにつれて低くなる傾向が見られる一方で、中学校入学後に転入した生徒では「時々実行している」が33.3%と高かった。地域区分別では、南部地域において「いつも実行している」と「時々実行している」を合わせた比率が90.1%で、他の地域と比較してやや高かったほかは、地域間による大きな違いは認められなかった。

(4) 省エネ



注：未回答（空欄）及び重複回答を無効回答とした。

図 2.2.4 環境を守るための行動（省エネ）

環境を守るための行動（省エネ）の集計結果について以下に示す。

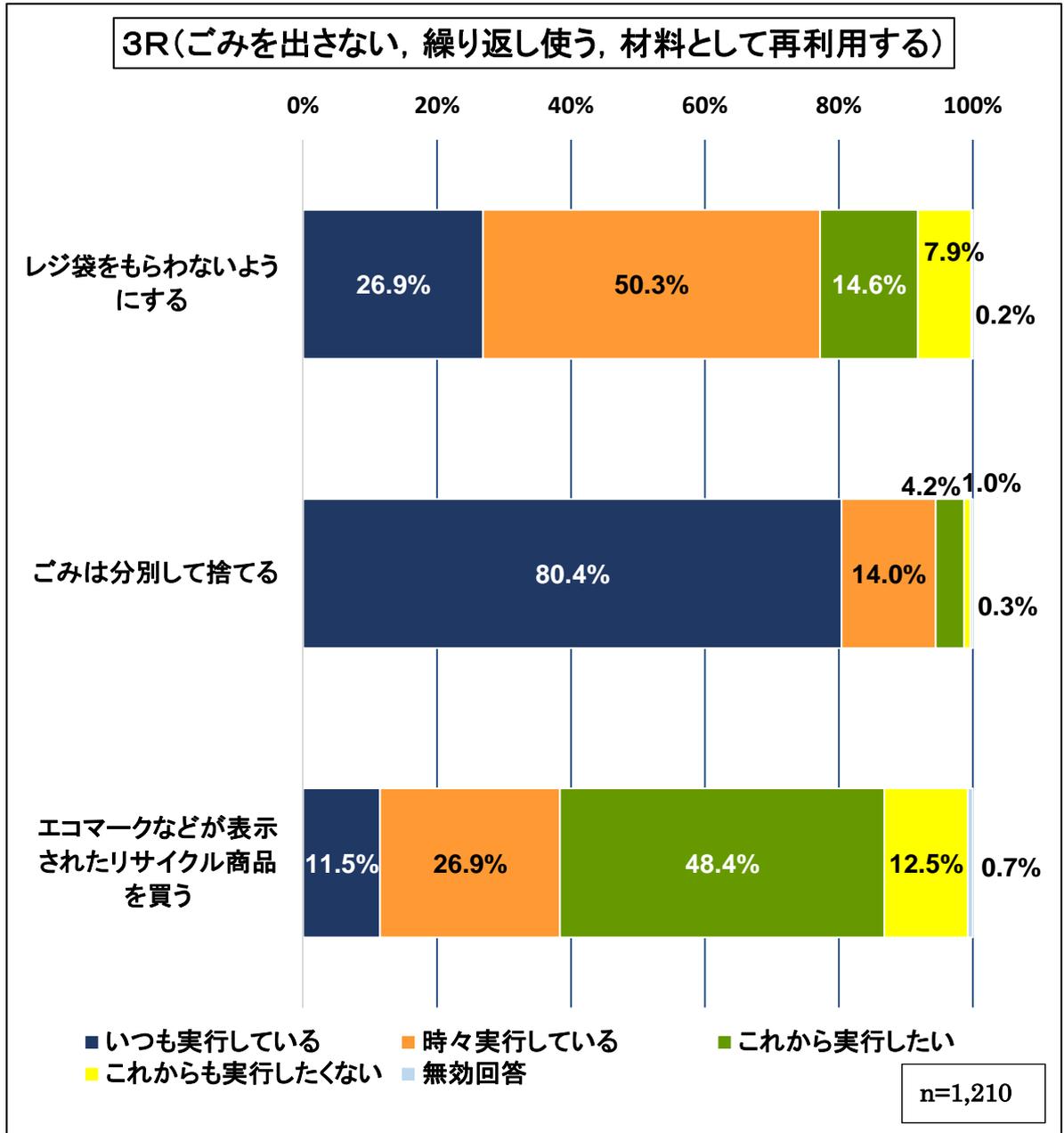
<全体集計結果>

- ・「使っていない部屋の電気を消す」についてみると、高かったのは「いつも実行している」(70.7%)であり、「時々実行している」(21.2%),「これから実行したい」(6.4%),「これからも実行したくない」(1.2%)が最も低かった。
- ・「室内温度を冷房時28℃, 暖房時20℃を目安に温度設定する」についてみると、高かったのは「いつも実行している」(39.9%)であり、次いで「時々実行している」(31.7%),「これから実行したい」(18.8%)となり、「これからも実行したくない」(9.2%)が最も低かった。
- ・「テレビやパソコンを使用しないときは電源を切る」についてみると、高かったのは「いつも実行している」(53.8%)であり、ついで「時々実行している」(20.4%),「これから実行したい」(17.9%)となり、「これからも実行したくない」(6.9%)が最も低かった。
- ・「暑さ対策のためグリーンカーテン（ゴーヤ等）を育てる」についてみると、高かったのは「これから実行したい」(41.2%)であり、次いで「これからも実行したくない」(39.1%),「時々実行している」(10.0%)が続き、「いつも実行している」(9.2%)が最も低かった。
- ・「水を流しっぱなしにしない」についてみると、高かったのは「いつも実行している」(77.2%)であり、次いで「時々実行している」(16.0%),「これから実行したい」(5.7%)となり、「これからも実行したくない」(1.0%)が最も低かった。
- ・以上の結果から、省エネ行動・節水行動については、「いつも実行している」と「時々実行している」の合計は70%から90%強の高い割合で実行していることが確認できたが、グリーンカーテンなど一手間かかる省エネ行動については、家庭状況の影響からか、まだまだ現在実行されている割合が低いことが確認できた。

<クロス集計結果（資料編91~105ページ参照）>

- ・「使っていない部屋の電気を消す」についてみると、性別では、「いつも実行している」と「時々実行している」を合わせた比率は男子生徒(89.3%)よりも女子生徒(95.5%)の方が高かった。居住期間別では、「いつも実行している」と「時々実行している」を合わせた比率は、小学校卒業前に転入した生徒が92.4%で最も高かった。地域区分別では、西部地域が89.2%でやや低いほかは、いずれの地域も90%を超えており、地域による大きな違いは認められなかった。
- ・「室内温度を冷房時28℃, 暖房時20℃を目安に温度設定する」についてみると、性別では、「いつも実行している」と「時々実行している」を合わせた比率は男子生徒(66.1%)よりも女子生徒(77.9%)の方が高かった。居住期間別では、「いつも実行している」と「時々実行している」を合わせた比率は、中学校入学後に転入した生徒が81.4%で最も高かった。地域区分別では、いずれの地域も70%前後であり、地域による大きな違いは認められなかった。
- ・「テレビやパソコンを使用しないときは電源を切る」についてみると、性別では、大きな違いは認められなかった。居住期間別では、「いつも実行している」と「時々実行している」を合わせた比率は、生まれた時から(72.8%)年齢を追うごとに高くなり、中学校入学後に転入した生徒が85.2%で最も高かった。地域区分別では、いずれの地域も75%前後であり、地域による大きな違いは認められなかった。
- ・「暑さ対策のためグリーンカーテン（ゴーヤ等）を育てる」についてみると、性別では、「いつも実行している」と「時々実行している」を合わせた比率はおおむね20%であり、性別による大きな違いは見られなかった。居住期間別では、「いつも実行している」と「時々実行している」を合わせた比率は小学校卒業前に転入した生徒が23.7%で最も高かった。地域区分別では、西部地域において「いつも実行している」と「時々実行している」を合わせた比率が24.3%と最も高かった。
- ・「水を流しっぱなしにしない」についてみると、性別では、「いつも実行している」と「時々実行している」を合わせた比率は男子生徒(90.9%)よりも女子生徒(96.0%)の方が高かった。居住期間別では、いずれも90%を超えていたが、中でも中学校入学後に転入が96.3%でやや高かった。地域区分別では、北部地域が96.4%、次いで南部地域が94.8%で高く、その他の地域も90%を超えていた。

(5) 3R (ごみを出さない, 繰り返し使う, 材料として再利用する)



注：未回答（空欄）及び重複回答を無効回答とした。

図 2.2.5 環境を守るための行動(3R(ごみを出さない, 繰り返し使う, 材料として再利用する))

環境を守るための行動（3R（ごみを出さない、繰り返し使う、材料として再利用する））の集計結果について以下に示す。

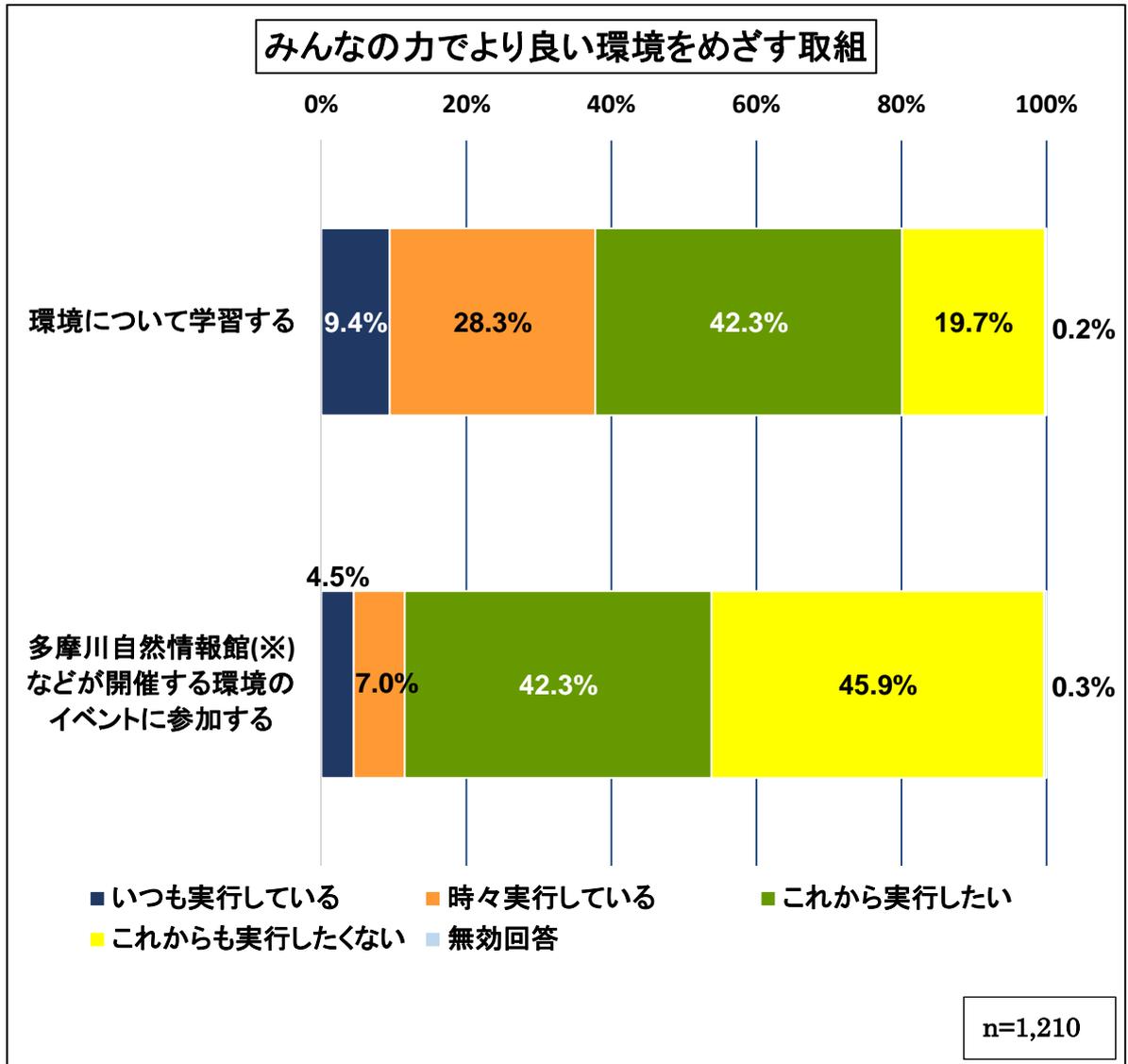
<全体集計結果>

- ・「レジ袋をもらわないようにする」についてみると、高かったのは「時々実行している」(50.3%)であり、次いで「いつも実行している」(26.9%)、「これから実行したい」(14.6%)となり、「これからも実行したくない」(7.9%)が最も低かった。
- ・「ごみは分別して捨てる」についてみると、高かったのは「いつも実行している」(80.4%)であり、次いで「時々実行している」(14.0%)、「これから実行したい」(4.2%)となり、「これからも実行したくない」(1.0%)が最も低かった。
- ・「エコマークなどが表示されたリサイクル商品を買う」についてみると、高かったのは「これから実行したい」(48.4%)であり、次いで「時々実行している」(26.9%)、「これからも実行したくない」(12.5%)となり、「いつも実行している」(11.5%)が最も低かった。
- ・以上の結果から、ごみの分別処理については、習慣化している状況も伺える。また、「レジ袋をもらわないようにする」についても「いつも実行している」と「時々実行している」の合計では70%強と高い割合であり、「ごみを出さない」、「材料として再利用する」に対する取組は高い意識を持って実行していることが確認できた。
- ・一方、「繰り返し使う」につながるリサイクル商品の購入については、「これから実行したい」が一番高い割合からも、適切な情報提供等が、実行する割合の拡大に向けた取組につながることが示唆されている。

<クロス集計結果（資料編 106～114 ページ参照）>

- ・「レジ袋をもらわないようにする」についてみると、性別では、「いつも実行している」と「時々実行している」を合わせた比率は男子生徒(69.6%)よりも女子生徒(86.1%)の方が高かった。居住期間別では、「いつも実行している」と「時々実行している」を合わせた比率は、期間による大きな違いは認められなかった。地域区分別では、「いつも実行している」と「時々実行している」を合わせた比率は、西部地域が74.1%でやや低く、他の地域は80%近かった。
- ・「ごみは分別して捨てる」についてみると、性別では、「いつも実行している」と「時々実行している」を合わせた比率は男子生徒(92.2%)よりも女子生徒(97.2%)の方が高かった。居住期間別では、生まれた時から(94.5%)年齢を追うごとに高くなり、中学校入学後に転入した生徒は100%であった。地域区分別では、西部地域が92.7%でやや低かったが、他の地域では95%前後であり、地域による大きな違いは認められなかった。
- ・「エコマークなどが表示されたリサイクル商品を買う」についてみると、性別では、「いつも実行している」と「時々実行している」を合わせた比率に大きな違いは認められなかった。居住期間別では、いずれも40%前後であり、中学校入学後に転入した生徒が44.4%で最も高かった。地域区分別では、「いつも実行している」の比率は、東部地域(14.2%)や西部地域(16.5%)が、南部地域(6.9%)や北部地域(8.2%)よりも高かった。

(6) みんなの力でより良い環境をめざす取組



注：未回答（空欄）及び重複回答を無効回答とした。

図 2.2.6 環境を守るための行動（みんなの力でより良い環境をめざす取組）

環境を守るための行動（みんなの力でより良い環境をめざす取組）の集計結果について以下に示す。

<全体集計結果>

- ・「環境について学習する」についてみると、高かったのは「これから実行したい」（42.3%）であり、次いで「時々実行している」（28.3%）、「これからも実行したくない」（19.7%）となり、「いつも実行している」（9.4%）が最も低かった。
- ・「多摩川自然情報館などが開催する環境のイベントに参加する」についてみると、高かったのは「これからも実行したくない」（45.9%）であり、次いで「これから実行したい」（42.3%）、「時々実行している」（7.0%）となり、「いつも実行している」（4.5%）が最も低かった。
- ・以上の結果から、環境学習については、「これから実行したい」が一番高い割合からも、自ら環境学習に取り組む動機付けへとつながる、中学生が興味を引く学習プログラムの適切な提供が求められている。
- ・一方、多摩川自然情報館については、調布市の環境学習等に係る拠点としての位置付けが、中学生にはまだまだ認知されていない現状が、改めて浮き彫りとなった。行政として猛省し、上記環境学習へとつながる中学生の学習状況に合致したイベント等の開催が求められる。

<クロス集計結果（資料編 115～120 ページ参照）>

- ・「環境について学習する」についてみると、性別では、男女による大きな違いは認められなかった。居住期間別では、「いつも実行している」と「時々実行している」を合わせた比率は、小学校卒業前に転入で42.0%と最も高かった半面、中学校入学後に転入で33.3%と最も低かった。地域区分別では、「いつも実行している」と「時々実行している」を合わせた比率は、東部地域において49.7%と最も高かった。
- ・「多摩川自然情報館などが開催する環境のイベントに参加する」についてみると、性別では、性別では、「いつも実行している」と「時々実行している」を合わせた比率は、女子生徒（8.4%）よりも男子生徒（14.5%）の方が高かったが、「これから実行したい」を加えると男子生徒（51.5%）よりも女子生徒（57.4%）の方が高くなった。居住期間別では、「いつも実行している」と「時々実行している」を合わせた比率は、中学校入学後に転入した生徒で3.7%と最も低かったが、他は12%前後であり、全体として期間による大きな違いは認められなかった。地域区分別では、「いつも実行している」と「時々実行している」を合わせた比率は、西部地域で15.5%と最も高く、他の地域は10%前後であった。

3 環境を守るために大切だと思うこと（アンケート調査票当該設問部分）

2. 環境を守るためにあなたが大切だと思う項目について、ア～カの項目のそれぞれあてはまるところに、1つ〇をつけてください。

【記入例】

あなたの考えに最も近いものに  
〇印を1つつけてください。

ア 自然やすんでいる生きものについて			
項目	大切だと思う	どちらでもない	大切だと思わない
自然が守られること（緑）	○		

ア 自然やすんでいる生きものについて			
項目	大切だと思う	どちらでもない	大切だと思わない
 自然が守られること（緑）			
自然が守られること（水辺）			
様々な生きものがすみ場所が守られること			
深大寺などの文化財が守られること			
畑や田んぼなどの農地が守られること			
イ すみやすく美しいまちについて			
項目	大切だと思う	どちらでもない	大切だと思わない
 自然の美しい景色がたくさんあるまちづくりを行うこと			
みんなが利用しやすく、楽しめる公園がたくさんあること			

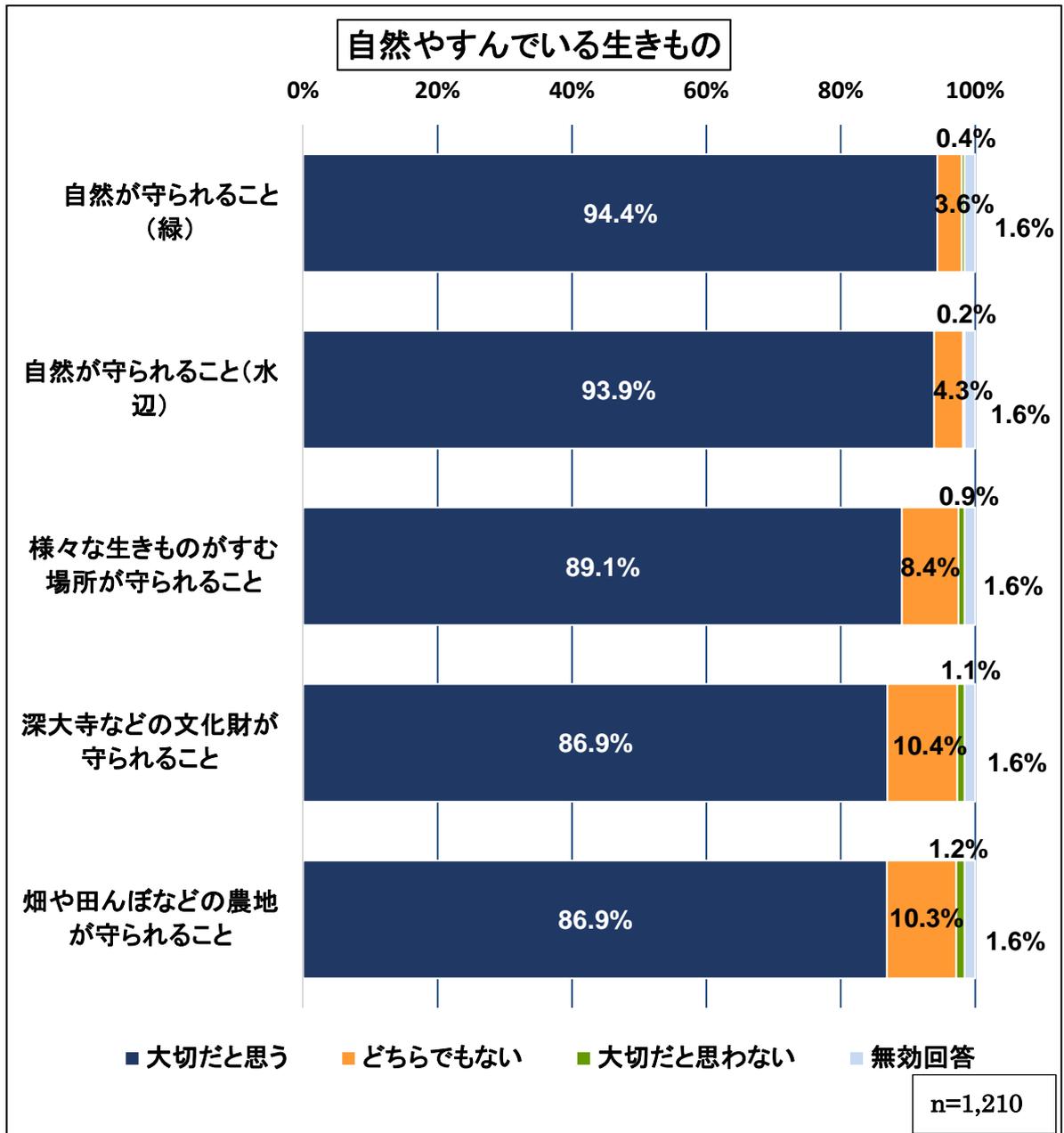
ウ 安心してらせる生活の環境について			
項目	大切だと思う	どちらでもない	大切だと思わない
 空気が澄んでいること			
川の水がきれいであること			
騒音や振動が発生しない環境であること			
大気汚染状況等（光化学スモッグやPM2.5）がわかること			
生活空間にある有害な化学物質についての情報がわかること			

エ 地球温暖化防止対策について			
項目	大切だと思う	どちらでもない	大切だと思わない
 省エネルギーを進めること			
太陽光発電など、再生可能エネルギーを積極的に利用すること			

オ 3R（ごみを出さない、繰り返し使う、材料として再利用する）について			
項目	大切だと思う	どちらでもない	大切だと思わない
 3Rの取組を進め、ごみを減らすこと			
分別収集したごみをリサイクルする施設を整えること			
正しくごみを処分すること			

カ みんなの力でより良い環境をめざす取組について			
項目	大切だと思う	どちらでもない	大切だと思わない
「市報ちょうふ」や市のホームページなどにより、環境に関する情報が必要に応じわかること			
多摩川の自然を学ぶ多摩川自然情報館でのイベントや、こどもエコクラブなどの環境学習活動を通じて環境を守る大切さを伝えること			
環境を維持・改善する活動を行う人を育てること			
みんなが一緒に環境を維持・改善する活動を進めること			

(1) 自然やすんでいる生きもの



注：未回答（空欄）及び重複回答を無効回答とした。

図 2.3.1 環境を守るために大切だと思うこと（自然やすんでいる生きもの）

環境を守るために大切だと思うこと（自然やすんでいる生きもの）の集計結果について以下に示す。

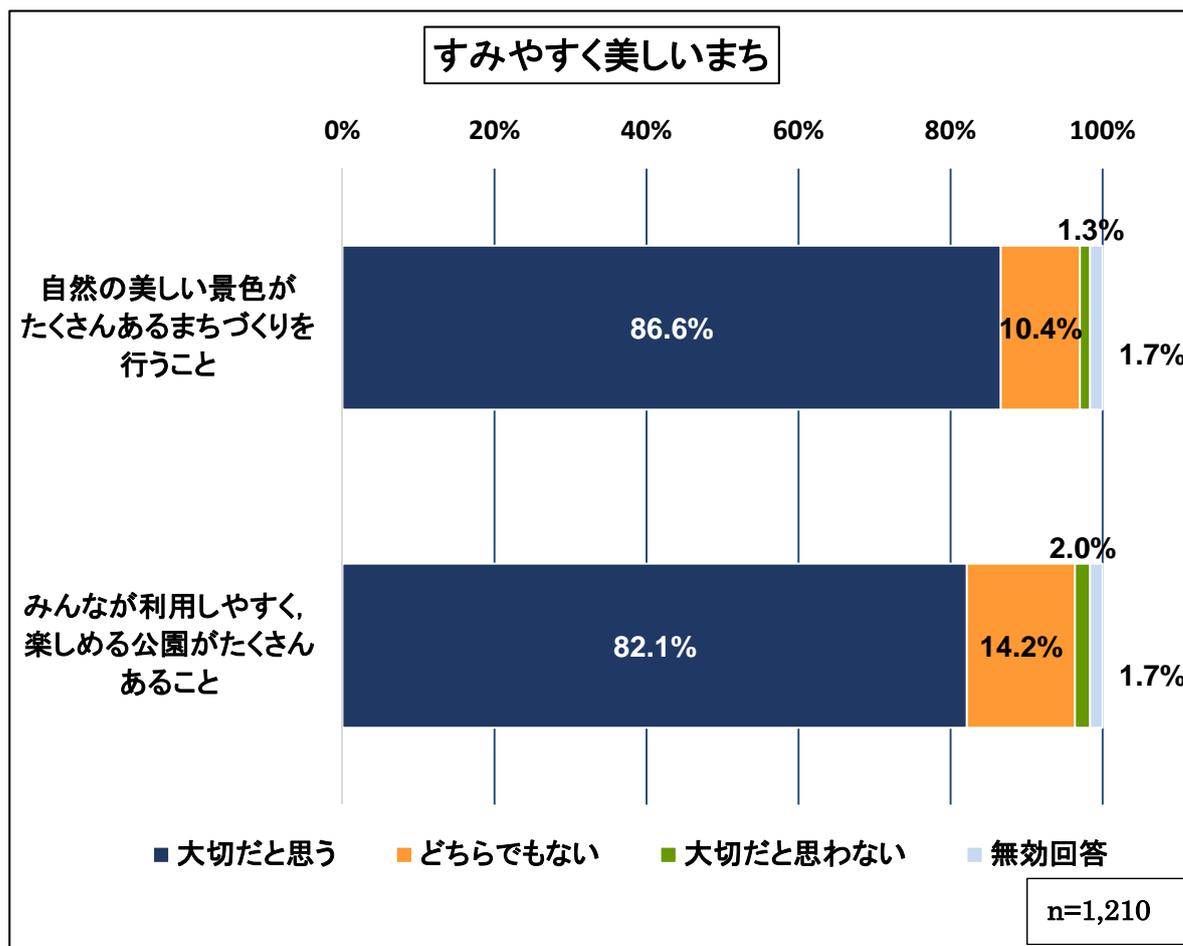
<全体集計結果>

- ・環境を守るために大切だと思うこと（自然やすんでいる生きもの）については、全項目において「大切だと思う」が85%を超えており、自然や生きもの大切さに対して、極めて高い意識を有していることが確認できた。

<クロス集計結果（資料編 121～135 ページ参照）>

- ・性別では、全項目において男女による大きな違いは認められなかった。居住期間別では、「自然が守られること（水辺）」において小学校卒業前に転入した生徒が「大切だと思う」で77.1%と他より低かったが、これ以外の項目については居住期間による大きな違いは認められなかった。地域区分別では、全項目において地域間の大きな違いは認められなかった。

(2) すみやすく美しいまち



注：未回答（空欄）及び重複回答を無効回答とした。

図 2.3.2 環境を守るために大切だと思うこと（すみやすく美しいまち）

環境を守るために大切だと思うこと（すみやすく美しいまち）の集計結果について以下に示す。

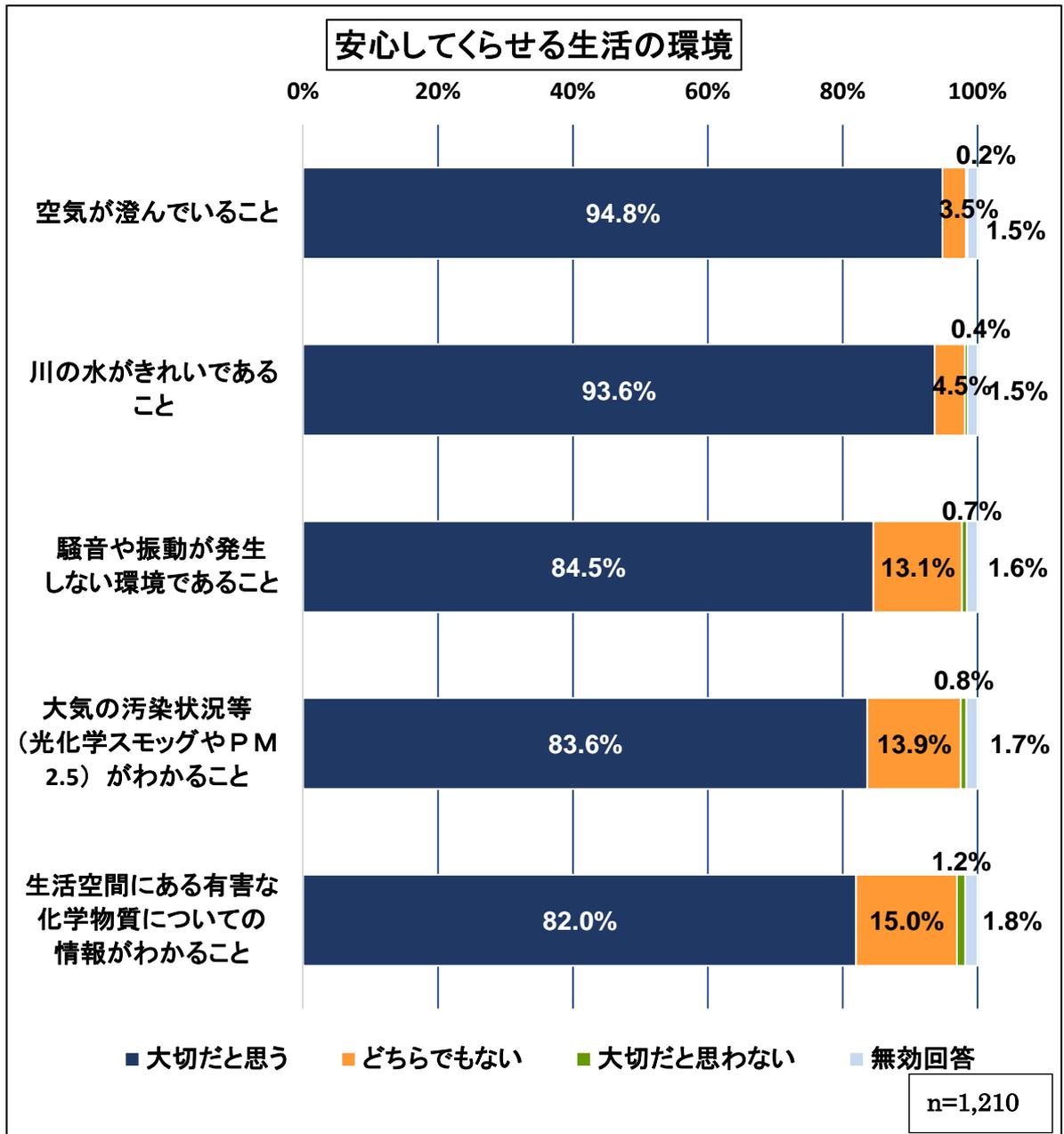
<全体集計結果>

- ・環境を守るために大切だと思うこと（すみやすく美しいまち）については、全項目において「大切だと思う」が80%を超えており、自然の美しい景色や利用しやすい公園に対して、極めて高い意識を有していることが確認できた。

<クロス集計結果（資料編 136～141 ページ参照）>

- ・性別では、全項目において男女による大きな違いは認められなかった。居住期間別では、「みんなが利用しやすく、楽しめる公園がたくさんあること」において、小学校卒業前に転入で87.0%、小学校入学前に転入で84.2%と、他と比較して「大切だと思う」の割合が若干高かった。地域区分別では、東部地域において89.6%と他の地域より高かった。

(3) 安心してらせる生活の環境



注：未回答（空欄）及び重複回答を無効回答とした。

図 2.3.3 環境を守るために大切だと思うこと（安心してらせる生活の環境）

環境を守るために大切だと思うこと(安心してらせる生活の環境)の集計結果について以下に示す。

<全体集計結果>

- ・環境を守るために大切だと思うこと(安心してらせる生活の環境)については、全項目において「大切だと思う」が80%を超えており、空気や水のきれいさに対して、極めて高い意識を有していることが確認できた。
- ・ただし、「空気が澄んでいること」や「川の水がきれいであること」では「大切だと思う」が90%を超えていたことに対し、「大気汚染状況等(光化学スモッグやPM2.5)がわかること」では80%台にとどまっていた。

<クロス集計結果(資料編142~156ページ参照)>

- ・性別では、全項目において男女による大きな違いは認められなかった。居住期間別では、全項目において、中学校入学後に転入した生徒が「大切だと思う」の割合が高い傾向が見られ、中でも「空気が澄んでいること」(100%)や「騒音や振動が発生しない環境であること」(96.3%)で、他の期間よりも著しく高かった。地域区分別についてみると、地域間における大きな違いは認められなかったが、「川の水がきれいであること」や「生活空間にある有害な化学物質についての情報がわかること」については、東部地域において「大切だと思う」の比率が他の地域より高くなっていた。

(4) 地球温暖化防止対策

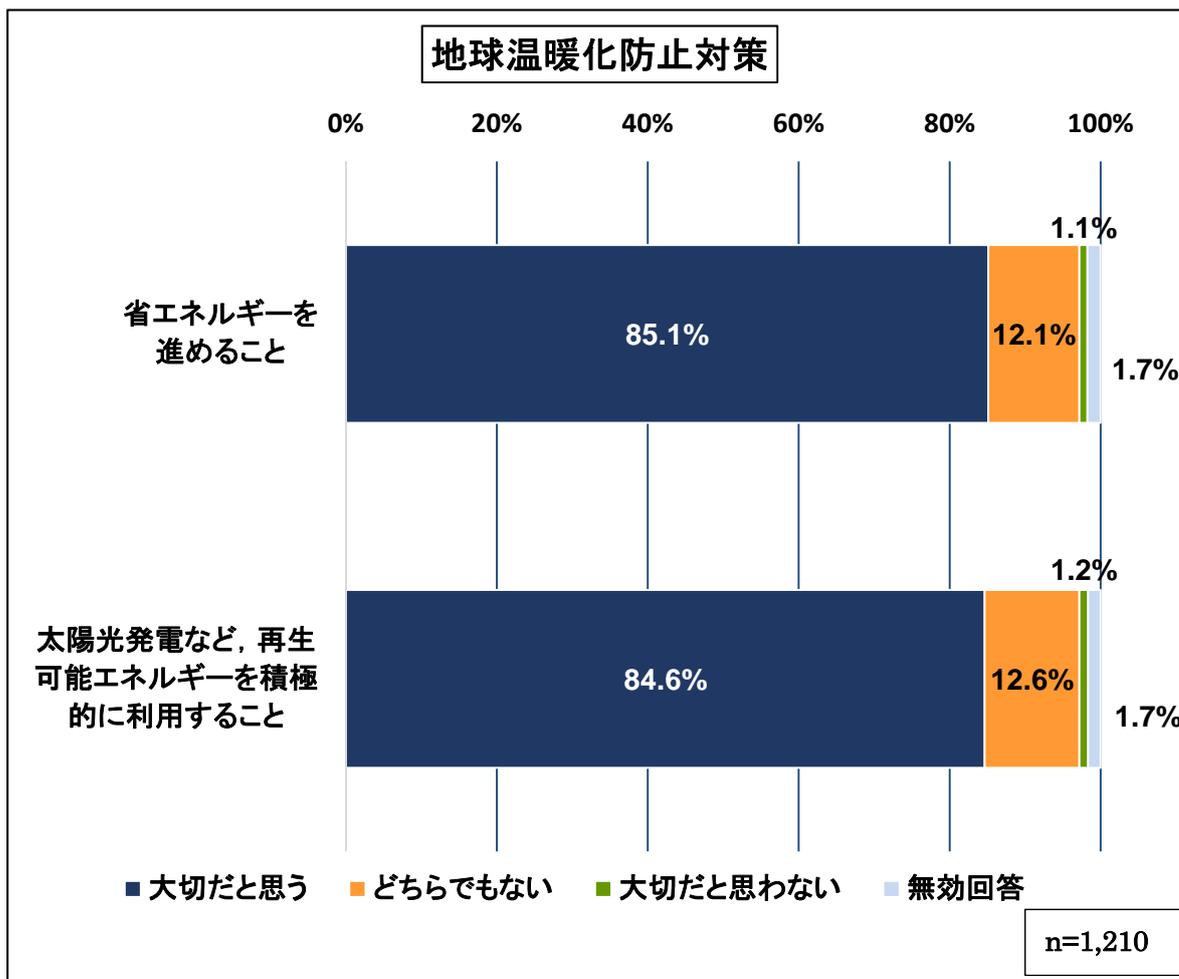


図 2.3.4 環境を守るために大切だと思うこと（地球温暖化防止対策）

環境を守るために大切だと思うこと（地球温暖化防止対策）の集計結果について以下に示す。

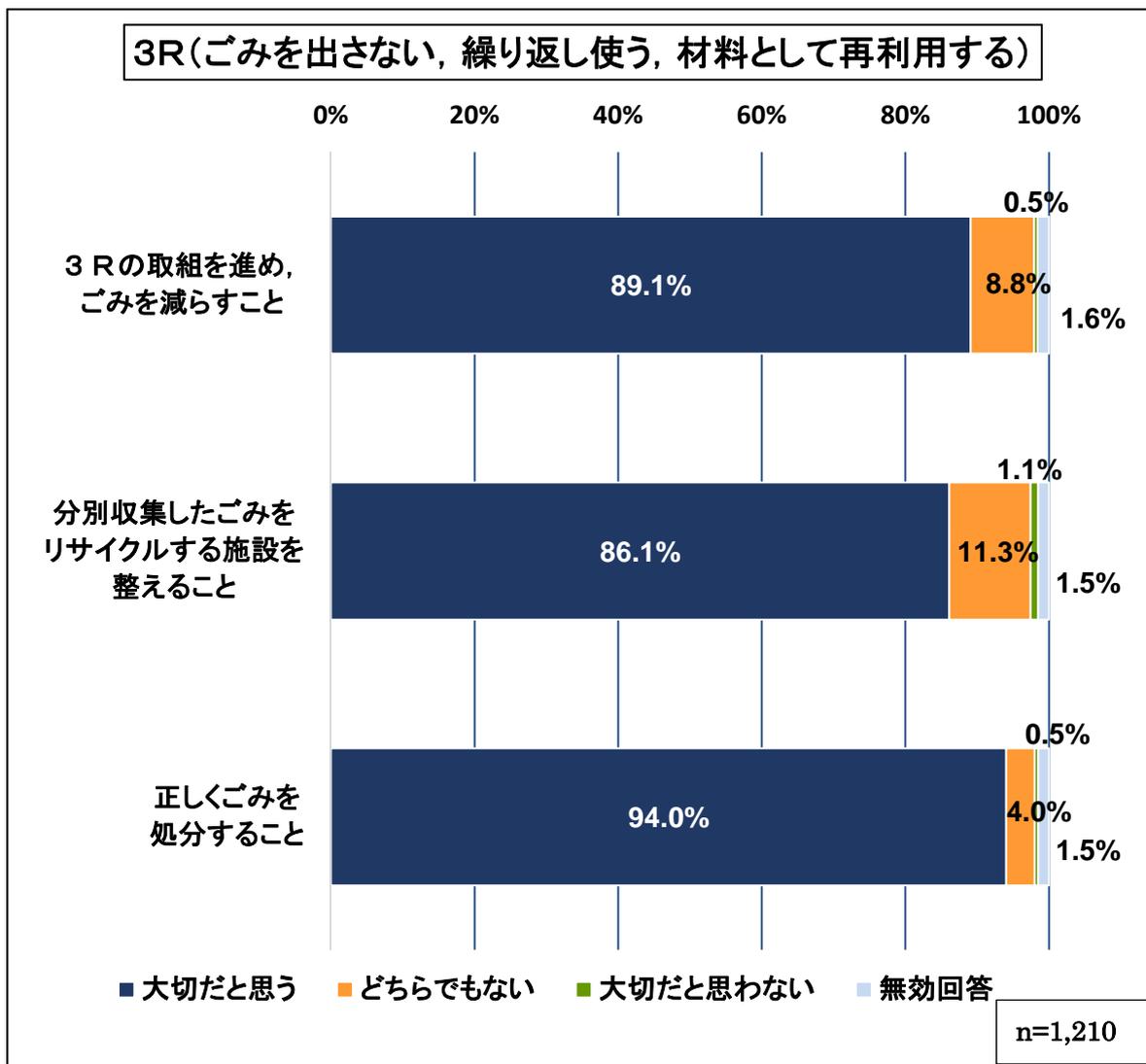
<全体集計結果>

- ・環境を守るために大切だと思うこと（地球温暖化防止対策）については、全項目において「大切だと思う」が85%前後であり、省エネルギーに対して、極めて高い意識を有していることが確認できた。

<クロス集計結果（資料編 157～162 ページ参照）>

- ・性別では、全項目において男女による大きな違いは認められなかった。居住期間別では、「大切だと思う」の比率が、中学校入学後に転入した生徒で「省エネルギーを進めること」について92.6%、「太陽光発電など、再生可能エネルギーを積極的に利用すること」について88.9%と他の居住期間よりも高かったが、その他の項目については居住期間による大きな違いは認められなかった。地域区分別についてみると、全項目について地域間における大きな違いは認められなかった。

(5) 3R (ごみを出さない, 繰り返し使う, 材料として再利用する)



注：未回答（空欄）及び重複回答を無効回答とした。

図 2.3.5 環境を守るために大切だと思うこと  
(3R (ごみを出さない, 繰り返し使う, 材料として再利用する))

環境を守るために大切だと思うこと (3R (ごみを出さない, 繰り返し使う, 材料として再利用する)) の集計結果について以下に示す。

<全体集計結果>

- ・環境を守るために大切だと思うこと (3R (ごみを出さない, 繰り返し使う, 材料として再利用する)) については, 全項目において「大切だと思う」が 85%以上であり, 3R に対して, 高い意識を有していることが確認できた。

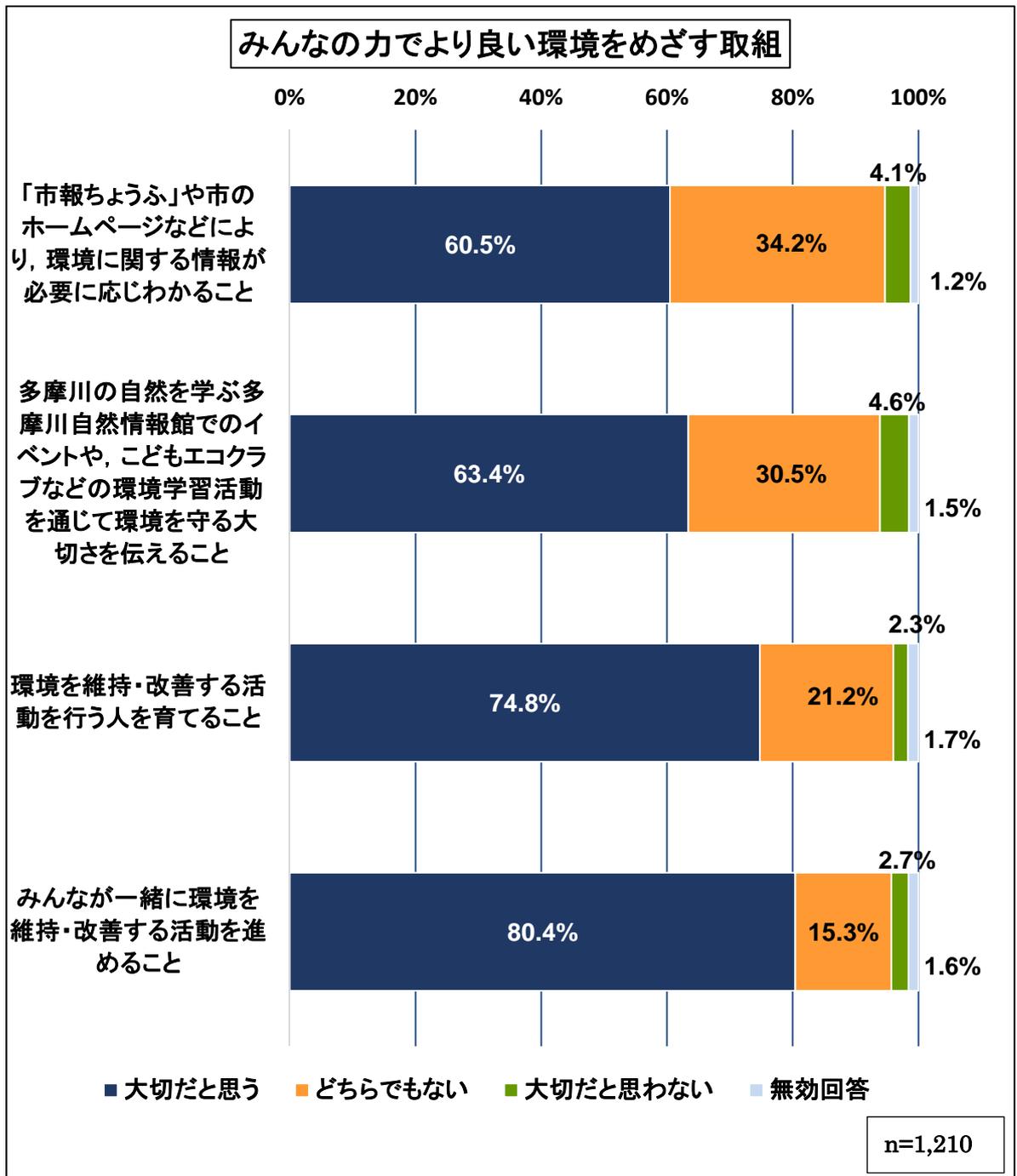
<クロス集計結果 (資料編 163~171 ページ参照) >

- ・性別では, 「大切だと思う」の比率は, 「3R の取組を進め, ごみを減らすこと」において女子生徒が 92.1% (男子生徒 86.5%), 「正しくごみを処分すること」でも女子生徒が 96.8% (男子生徒 91.9%) で, 男子生徒を 5 ポイント前後上回った。
- ・居住期間別では, 「3R の取組を進め, ごみを減らすこと」において, 「大切だと思う」の比率は, 生まれた時から (87.8%) 年齢を追うごとに高くなり, 中学校入学後に転入した生徒では 96.3% となった。また, 「分別収集したごみをリサイクルする施設を整えること」において「大切だと思う」

の比率が中学校入学後に転入した生徒で 92.6%と他の居住期間より高かった。さらに、「正しくごみを処分すること」でも中学校入学後に転入した生徒が 100%と高かった。

- 地域区分別についてみると、「正しくごみを処分すること」について、いずれの地域も 90%を超えたが、西部地域は 91.1%と比較的低かった。

(6) みんなの力でより良い環境をめざす取組



注：未回答（空欄）及び重複回答を無効回答とした。

図 2.3.6 環境を守るために大切だと思うこと（みんなの力でより良い環境をめざす取組）

環境を守るために大切だと思うこと（みんなの力でより良い環境をめざす取組）の集計結果について以下に示す。

<全体集計結果>

- ・環境を守るために大切だと思うこと（みんなの力でより良い環境をめざす取組）については、「みんなと一緒に環境を維持・改善する活動を進めること」において「大切だと思う」が 80.4%、「環境を維持・改善する活動を行う人を育てること」が 74.8%であった。
- ・一方、「多摩川の自然を学ぶ多摩川自然情報館でのイベントや、こどもエコクラブなどの環境学習活動を通じて環境を守る大切さを伝えること」では 63.4%、「市報ちょうふ」や市のホームページなどにより、環境に関する情報が必要に感じられること」では 60.5%と、上記 2 項目と比較してやや少なく、中学生を対象とした認知度向上や周知など情報提供の不足感が認めなかった。

<クロス集計結果（資料編 172～183 ページ参照）>

- ・性別では、全項目において男女による大きな違いは認められなかった。居住期間別では、全項目において、中学校入学後に転入した生徒の「大切だと思う」の比率が、他よりも 5～10%程度高い傾向が見られた。地域区分別についてみると、東部地域の「大切だと思う」の比率が、全項目において 1～5%程度高い傾向が見られた。

4 環境に関する問題点と改善（解決）策（アンケート調査票当該設問部分）

3. どうすれば、調布市の環境がより良くなると思いますか。問題と思うところと、その改善（解決）策をいくつでも記入してください。

問題点	→	改善（解決）策

環境に関する問題点と改善（解決）策として、532件の意見があった。

問題点・改善（解決）策の категорияと主な内容を表2.4.1、問題点・改善（解決）策の集計結果を表2.4.2、問題点と改善（解決）策を表2.4.3（1）～（12）に示す。意見は、原則として原文のまま掲載している。ただし、個人名・企業名等プライバシーに関する記述または不適切な表現がある場合は、該当部分あるいは全文を削除している場合がある。

表 2.4.1 カテゴリーと主な内容

番号	カテゴリー	件数	主な内容
1	緑	70	・緑を増やす・木々が少ない
2	水質	56	・川が汚い・水が汚い
3	ゴミ・清掃	294	・ごみが多い・ポイ捨て
4	大気・悪臭等	37	・空気が汚い・工事の音がうるさい
5	省エネ等	17	・エコバッグを使う・冷暖房を控える・リサイクル
6	マナー	27	・放置自転車
7	学習・体験	13	・学校行事で環境を学べるようにしてほしい
8	交通	24	・道が狭い
9	その他	98	・害虫駆除・公園が少ない・設備の整備

表 2.4.2 問題点と改善（解決）策の集計結果

学校名	問題点・改善（解決）策のカテゴリー									合計
	緑	水質	ゴミ・清掃	大気・悪臭等	省エネ等	マナー	学習・体験	交通	その他	
調布市立調布中学校	8	3	55	3	3	9	4	1	12	98
調布市立神代中学校	9	4	44	4	3	1	3	9	19	96
調布市立第三中学校	21	18	75	8	5	3	2	1	25	158
調布市立第四中学校	4	11	28	1	1	1	2	3	8	59
調布市立第五中学校	4	7	25	7	1	8	1	5	17	75
調布市立第六中学校	9	10	26	7	0	2	1	3	9	67
調布市立第七中学校	6	0	15	6	3	1	0	1	5	37
調布市立第八中学校	9	3	26	1	1	2	0	1	3	46
合計	70	56	294	37	17	27	13	24	98	636

注：一つの意見の中に、複数のカテゴリーの内容が含まれている回答があったため、問題点・改善（解決）策のカテゴリーの集計件数は、意見の件数と一致しない。

表 2.4.3 (1) 問題点と改善(解決)策(1)

番号	問題点	改善(解決)策	問題点・改善(解決)策のカテゴリー									学校名		
			1	2	3	4	5	6	7	8	9			
1	・木(植物)がたくさんあるところないところの差がはげしい。 ・夜になると、まっくらになるところがある。		○										○	調布
2	・ごみをポイ捨てをしている(たばこを含め)。 ・レジぶくろをとる。	・市の人達は、指定の所にごみ箱をおく。ポスターをはるなど。 ・マイバッグを持ってくる。				○			○					調布
3	・道路沿いにたばこの殻などが捨ててある。 ・ごみなどを放置すること。 ・川の水が汚い。 ・違反などをやる。	・まずは決められた場所に捨てる。 ・早めに捨てる。 ・川をきれいにしよう。 ・違反は必ずしないことが大事だと思う。				○	○			○				調布
4	・星が見えない(星が見たい)。 ・太陽光発電や新エネルギーでの電気を他のところにも与えられるようにしたい。 ・いろんな体験をしたいです。	・空気をきれいにする。 ・キャンプや1日体験など・・・。							○		○		○	調布
5	家のまわりで工事ばかりしている。	もっとまわりから許可をもらって行う。											○	調布
6	いろいろな道路際に木や植物がない。	もっと多く植える。	○											調布
7	駅の周辺に緑が少ない。	木を植える、花を植える。→見た目もキレイな町になる。	○											調布
8	駅の周りに緑が少ない。	少しでもいいから木を植えてほしい！！	○											調布
9	駅前	もっときれいにして緑を増やす。	○											調布
10	駅前が汚い。				○									調布
11	エコクラブとかボランティアとか、いつやっているかわからないし、エコクラブに関しては知らない。	市として子供や大人などに呼びかける。									○			調布
12	川が汚くなっている。	ごみをすてない。		○	○									調布
13	川が汚れていること。	ごみなどを川に捨てることをやめる。		○	○									調布
14	木(緑)が減っている。	切ったら植える(必ず)。	○											調布
15	木が整えられていない。	木を整える。	○											調布
16	くさい。	消臭					○							調布
17	車などのCO2, 電気の使い過ぎ。	電気自動車を使う。節電もする。							○					調布
18	公園が汚い。	整備する回数を増やす。			○									調布
19	公園にすんでいる人がごみをちゃんとごみ箱に捨てない。	ちゃんとすててもとの場所をきれいにする。			○									調布
20	公園などの広場にごみがポイ捨てされている。	ごみ箱を増やすこと。			○									調布
21	公園にごみがたくさんすててある。	積極的にごみ箱を設置する。			○									調布
22	このままでいいと思う。	このままでいいと思う。											○	調布
23	ごみが色んなところに捨ててある。	ポスターをはったり、はってもやる人がいるので、しょうがないので、誰かが拾う(ボランティアなど)しかないと思います。			○									調布
24	ごみが多い。	ごみを出さない。			○									調布
25	ごみが多い。	しっかりと捨てさせる。 ポイ捨てしたら罰金を払う。			○									調布
26	ごみが多い。	ごみひろいを定期的におこなう。			○									調布
27	ごみが落ちている(缶やペットボトル)。	1人1人がごみ箱にいれる。きついたら拾う。			○									調布
28	ごみが落ちている。	ポイ捨てをする人をなくす。			○									調布
29	ごみがおちている。	きちんとごみ箱に捨てる。			○									調布
30	ごみがそこらへんに捨てられている。	ごみ箱に捨てる。			○									調布
31	ごみが散らばっている。				○									調布
32	ごみが道路にたくさん落ちている。	ごみ箱にすてるように呼びかけやクリーン作戦を行う。			○									調布
33	ごみがわざとすてられている所。	・見た人は呼びかけ。 ・ごみ箱を増やす。			○									調布
34	ごみとか汚い所が多い。	掃除する。			○									調布
35	ごみの分別。	ごみをしっかりと分ける。			○									調布
36	ごみの分別をてきとうにしている人がいる。	しっかりと一人一人が心がけてごみを分別することが大切だと思う。			○									調布
37	ごみのポイ捨て。	ごみになるものを作らない。			○									調布
38	ごみの量をすくなくした方がいい。	なるべくリサイクルできるものを買ひ、ごみをふやさない。			○									調布
39	ごみをその場に捨てる人がいる。	もっと身近な所にごみを捨てる所を作る。			○									調布
40	ごみを出す量が多い。	リサイクルをする。			○									調布
41	ごみをポイ捨てする人がいる。	一人一人がやっってはいけないと自覚する。			○									調布
42	ごみを路上に捨てる。	ごみを路上に捨てない。			○									調布
43	事故を減らす。	道路を広くする。										○		調布
44	施設の不十分な点(公共施設)。	調布市の税金を上げ、国から認められる市作りを始めてみる。											○	調布
45	自転車を置いてはいけないところに置く。	駐輪場をこの問題がある近くに設置。								○				調布
46	自転車を公園に止めている。	自転車置き場を増やす。								○				調布
47	自転車を乗るときのマナー。	法律をきびしくする。								○				調布
48	自由に遊べるような所が減っている。	公園とかじゃなくていいから、空き地のようなところをもっと増えたらいいと思う。											○	調布
49	植物をむやみに取ること。	取らないようにする。								○				調布
50	せっかく川があるのに遊ぶ人が少ない。	イベントを増やす(ごみ拾い、ザリガニ捕獲など)。										○		調布

表 2.4.3 (2) 問題点と改善(解決)策(2)

番号	問題点	改善(解決)策	問題点・改善(解決)策のカテゴリー									学校名		
			1	2	3	4	5	6	7	8	9			
51	そこら辺にごみが落ちている。	ごみ箱増やす。			○									調布
52	たばこなどがよく捨ててある。	看板で捨てないように呼びかける。			○									調布
53	たばこのすいがらが多い。 公共の場が汚い。	きつえんスペースを設ける。 清掃する。			○									調布
54	たばこのポイ捨てが多く見受けられる。	もっとたばこの喫煙所を増やす。			○									調布
55	たばこのポイ捨てなどが多い。	呼びかけるポスターをかく等。			○									調布
56	タバコやごみがすてられている。	ごみ拾いのキャンペーンを行う。きつ煙所も、もっと多くつくる。			○									調布
57	多摩川などにおちているごみ。	ごみは持ち帰る、など。			○									調布
58	多摩川のごみ。 放置自転車	ごみ拾い。 駐輪場作り。			○			○						調布
59	多摩川や多摩川の周りの草木があるところなどにたくさんごみが落ちている点。	一人一人がごみを捨てないようにし、もしごみがあったら地域の人たちでごみ拾いを行う。			○									調布
60	たまに道路にごみやタオルなどが落ちていて車に潰されていたり、道にごみが落ちている。	ごみを捨てないように呼びかけるポスターをはる。一人一人が気をつける。			○									調布
61	違法駐輪が多い。	無料の駐輪場を増やす。						○						調布
62	点字ブロックの上に自転車などを違反しておく人がいる。	置く場所を有料にして、違反している人がいたら、罰金などを追及する。						○						調布
63	道路が狭かったり、信号でいつも渋滞している。	道路を広くして信号も工夫してほしい。											○	調布
64	道路などに緑が少ない。	並木を植える等。	○											調布
65	野川でつりができない、およげない。	出来るようにする。							○					調布
66	野川の周りにごみが落ちている。→花見やバーベキューの季節など。	ポスターなどを使って呼びかける。			○									調布
67	野川や多摩川。	ごみひろいなど。			○									調布
68	排気ガスが多い。	水素自動車などを使う。					○							調布
69	破傷風の菌が多い。	殺菌してほしい。											○	調布
70	不法投棄やごみのポイ捨て。	ごみ拾い活動を行う。			○									調布
71	別に悪くないと思う。	別にない。											○	調布
72	ポイ捨て。	町のごみを小まめに捨てる。			○									調布
73	ポイ捨て。	呼びかけ。			○									調布
74	ポイ捨て。	ポイ捨てはおかしいという意識を持つ。			○									調布
75	ポイ捨てがある。	一人一人が意識する。			○									調布
76	ポイ捨てが多い。	意識してごみをごみ箱に捨てる。			○									調布
77	ポイ捨てなどが多い。	ポイ捨てをしないよう呼びかける。したら罰金など。			○									調布
78	ポイ捨てをする人がいる。	ポイ捨てを呼びかけるポスターを沢山貼る。			○									調布
79	ポイ捨てをする人がいる。	みんなに呼びかける(ポスターなど)。			○									調布
80	放置自転車が多い。	もっと無料の駐輪場をつくってほしい。						○						調布
81	こわい人がいる。	公園を減らす、パトロールの強化。											○	調布
82	道がふんだらけ。	町のそうじをちゃんとしてほしい。			○									調布
83	道にごみが落ちていたりする。	ごみのポイ捨てをしない。			○									調布
84	道のポイ捨てが目立つ(特にタバコの吸いがら)。	・ボランティア活動を定期的に色々な団体が行う。 ・ごみ箱を増やす。			○									調布
85	道の両はじに土や草があると、そこにペットボトルなどのごみを捨てる人がいる。	調布市は、川もあり、自然も多いので、無理に自然を増やすことよりも、道にごみを捨てたりできない環境にすること。			○									調布
86	夜の公園がうるさい。	夜には人が集まらないようにする。					○							調布
87		・学校や地域で環境に関する活動を増やして、意識を高める。 ・ごみは決まった場所に捨てる。正しい捨て方をするということをしっかり身に付ける。 一人一人が環境について興味を持つ。			○								○	調布
88													○	調布
89	・遊べる場所が少なすぎる。 ・家などのために、自然をこわすすぎ。	・もっと公園や遊ぶ施設をつくる。 ・自然をのこしてほしい。	○										○	神代
90	・車がけっこう走っている。 ・緑が少ない。	・車をあまり走らせない。 ・植物を守り、植物を植える。	○									○		神代
91	・野川の土手の草が荒れてて虫(マダニとか)がこわい。 ・自転車専用の道がない。	・こまめに草をかる。										○	○	神代
92	・ポイ捨て。 ・道の凸凹。	・地域でボランティアごみ拾いを行う。 ・次から気をつけよう。			○									神代
93	空き地にごみ。	收拾する人。			○									神代
94	美しい所がほぼない。	人を簡単にひきつけられるものを作り、人々の目を調布に向ける。											○	神代
95	映画館、ボーリング場がなくて、遊べる場所がない。	みんなが楽しめる施設をつくる。											○	神代
96	大きな道路の歩道や自転車道。	(東八通路みたい)に分けてほしい。											○	神代
97	街灯が多くてそれらが上を向いているから星が見えにくい。	街灯を減らして下向きだけの街灯に切り替える(それなら安全性は変わらない)。											○	神代
98	外来種を川に捨てない。	取り組みをする。											○	神代
99	川がきたない。				○									神代
100	本当はいない生きものを川に捨てている。	捨てない。											○	神代

表 2.4.3 (3) 問題点と改善(解決)策(3)

番号	問題点	改善(解決)策	問題点・改善(解決)策の 카테고리									学校名		
			1	2	3	4	5	6	7	8	9			
101	気温が高い。	植物を育てる。	○											神代
102	木などがなくなっている。	自然を大切にす。	○											神代
103	空気が悪い。 ガソリンスタンドのにおい。	空気が悪いので、自然を増やし、むだ使いをしない。 車が来る時だけしか開かないドアで、上には窓をす。					○							神代
104	公園が利用しづらい。	みんなが利用しやすいように、キレイにする。緑を増やす。	○		○									神代
105	公園などの雑草や汚れが多い。				○									神代
106	公園にごみなどが落ちている。	ごみ箱などを増やす。看板を作る。			○									神代
107	公園にペットボトルやカンが落ちている。	ごみ箱の設置をす。			○									神代
108	公園はたくさんあるけれど、ボールを使える公園が少ない。	安全に遊べる環境を増やす。											○	神代
109	ごみがいろいろな所にたくさん落ちている。	ちゃんとごみ箱に捨てる。			○									神代
110	ごみが多い。	ごみ箱を置く。			○									神代
111	ごみが多い。 川が汚れている。			○	○									神代
112	ごみが落ちている。	一人一人が意識する。			○									神代
113	ごみが落ちている。	これからは、ごみはごみのすてるところにすてたいと思います。			○									神代
114	ごみが落ちていることが多い。	色々な所にごみ箱を設置する。一人一人の意識を高める。			○									神代
115	ごみがときどき道に落ちている。	ごみを捨てないように、看板などを設置する。			○									神代
116	ごみがまだいっぱいある。	みんなにごみをすてないように紙に書いてはっておけば、少しの人はごみを捨てなくなると思う。			○									神代
117	ごみが道に落ちている。	ポイ捨てをなくす。			○									神代
118	ごみが道に捨てられている。	もっとクリーン作戦を行う。			○									神代
119	ごみの処分。	ごみ捨て場にごみ収集の仕事の人がいて管理する。			○									神代
120	ごみのポイ捨て。	ごみ箱をもっと増やす。ごみ箱の場所を分かりやすく示す。案内みたいのを置く。			○									神代
121	ごみのポイ捨てを行っている人がいる。	ポイ捨て禁止の呼びかけ。			○									神代
122	ごみ箱が少ない。	設置する。			○									神代
123	ごみ屋敷がある。空家など。	強制処分させる。			○									神代
124	ごみを捨てない。	・家に持ち帰って、ごみ箱に捨てるなど。 ・街にごみ箱を設置するのいいと思います。			○									神代
125	ごみを捨てる場所がむき出しになっている。	せめて箱みたいなものに少し入れて、衛生的にも見た目的にもきれいにすてほしい。			○									神代
126	ごみを外に捨てる。	ごみをあまり捨てない。			○									神代
127	ごみを道路にすてている人がいる。	「ポイ捨て禁止」の看板を増やした方がいいと思う。			○									神代
128	ごみを分別しない人がいる。	ごみを分別するポスターを作る。			○									神代
129	ごみをポイ捨て。	ごみ箱にすてる。			○									神代
130	自然はたくさんあるが、楽しめる場所がない。	楽しめる場所をつくる。											○	神代
131	自然を当たり前と思っている。	学校で、自然に関してもっと知る。								○				神代
132	自転車かためてはいけない所にためている。	てつきよする。							○					神代
133	車道に近い歩道にカードレールがない。	ガードレールをつける。										○		神代
134	自由公園にごみがある。	ごみを捨てないようにする。			○									神代
135	自由に生きものを取ったり、観察できるところが少ない。	むだな護岸工事をしたり、川や林を立ち入り禁止にしたりしない。子供に対して過保護にならない。										○		神代
136	そこら辺にごみがたくさん落ちている。	ところどころにごみ箱を設置する。			○									神代
137	多摩川の合流地点の水のにおい。	水の流れを良くする。		○		○								神代
138	調布駅前のロータリーが汚い。 深大寺の活性化。	工事してほしい。 深大寺や植物公園、温泉をつなぐミニバスをつくってほしい。子供からお年寄りまで楽しめるように改善してほしいです。										○	○	神代
139	調布の文化、歴史をもっとつたえる。	webなどで紹介。											○	神代
140	道路がせまい。	歩道を広げる。										○		神代
141	とても暗く、電灯がない道がある。 たるま市の次の日は、深大寺にごみがたくさん落ちている。	電灯をつける。 呼びかけ・ポスター、ごみ箱設置。			○								○	神代
142	どの年代の人も遊べる場所がない。	公園・テーマパークなどをつくる。外でも中でも遊べる場所(雨、雪でもいい)。											○	神代
143	生ごみが多い。	市報などで呼びかける、しぼる。			○									神代
144	年々、自然が少なくなっている。	植物を植える。	○											神代
145	野川にごみいっぱい。	すてない。			○									神代
146	野川に捨ててあるごみ。	定期的回収。呼びかけポスター。			○									神代
147	野川の水がきたない。	ごみとかをちゃんと捨てる。流さない。		○	○									神代
148	野良猫が多い。	保護する。											○	神代
149	排出ガス	自転車を使う。				○								神代
150	犯罪が多い。	ラクガキなどを消す。											○	神代

表 2.4.3 (4) 問題点と改善(解決)策(4)

番号	問題点	改善(解決)策	問題点・改善(解決)策の 카테고리									学校名		
			1	2	3	4	5	6	7	8	9			
151	広い公園が少ない。	広い公園を増やしてほしい。											○	神代
152	不審者がいる。												○	神代
153	ポイ捨て。	ごみ箱に捨てる。			○									神代
154	ポイ捨て。	呼びかけ、ポスターなど。			○									神代
155	ポイ捨て。 暗い道がある。	ポイ捨てをしない。			○							○		神代
156	ポイ捨て。 暗い道がある。	ごみ箱に捨てる。			○							○		神代
157	ポイ捨てが多い。	ごみ箱を置く。			○									神代
158	ポイ捨てがたまにある。	1人1人が意識する。			○									神代
159	歩行者と自転車の専用道路で歩行者は歩行者。											○		神代
160	毎年花粉がひどい。	花粉を出す木を減らしてください。											○	神代
161	道にごみが落ちている。	しっかりごみ箱にする。			○									神代
162	道の整備。	ごみを決められたところに捨てる。			○									神代
163	道ばたなどにごみ(ペットボトルなど)が普通に捨ててある。	外出先などで発生したごみは家に持ち帰り、家で捨てる。			○									神代
164	緑(植など)を増やす。むだをなくす。	実行する。	○											神代
165	緑が少ない。	もっと木をうえる。	○											神代
166	みんなが興味をもっていない。	興味をもっている人、団体が積極的に伝える。									○			神代
167	もっと映画館を作してほしい。												○	神代
168	夜になっても子どもの大きな声がある。					○								神代
169	リサイクルボックスが少ない。	いろんなスーパーの前に置く。			○		○							神代
170	レジ袋やビニールがさをすぐもらう、買う、をしよう。	マイバッグ、マイかさを持つようにする。					○							神代
171		シンプルイズベスト					○							神代
172		もっと自然をふやす。	○											神代
173	・学校が汚すぎる。 ・映画館がない。 ・畑がありすぎる。 ・道が汚い。 ・全体的に汚い ・調布駅にデパートがない。 ・国領に快速が止まらない。	・改装する。これだけお願いします。 ・作って下さい。 ・畑をなくして、家を建てて、一つの家には、植物を置く。そうすれば自然にも良い。 ・全て改革しましょう。 ・できれば伊勢丹がいいです。 ・京王にお願いしましょう。			○								○	第三
174	・ごみが道に落ちていてきたない。 ・壁に落書きなどがある。	・1人1人がごみをごみ箱に捨てるようにする。ごみを見つけたら、自分のじゃなくても捨てるようにする。 ・壁の落書きを消す。やっている人を見たら注意する。			○									第三
175	・ごみの分別をしっかりとする。 ・電気をつけっぱなしにしない。 ・水を流したままにしない。	・どこに何を捨てるのかをごみの日カレンダーを見たり、ほかの人に聞いたりして正しく分別する。 ・使わない電気はこまめに消し、電気をつけて用が済んだら消すようにする。 ・歯をみがいている時か、うがいをする時にこまめに止めるようにする。水の出る強さも考える。			○		○							第三
176	・スポーツをすることが出来る公園が少ない。 ・ごみが落ちている。	・公園の面積を大きくして、壁などを作ったり、フェンスをつけて、周りの家にあてるなどの被害を無くす。 ・もっとごみ箱を増やすことが大切だと思う。			○								○	第三
177	・多摩川にごみが多い。 ・ごみの分別ができていない。 ・道路にガムやたばこのごみが落ちている。 ・たばこ等の煙が道を歩いているとよく見える。	・多摩川でごみを拾うボランティアを求める。 ・ごみの分別を求めるポスターを増やす。 ・たばこは決められた場所でのみ喫煙し、他の場所では禁止する。 ・たばこの煙が有害であることを伝えるポスターを作る。			○	○								第三
178	・道路や道ばたにごみが落ちている。 ・国領に快速がとまってほしい。 ・並木通りなどを作り、木を増やす。	・ごみを拾う人を時給制でやとう。 ・京王電鉄にたのむ。 ・市で金を出す。	○		○								○	第三
179	・ポイ捨て。 ・あれ地をなくす。	・ポスターをはる。 ・雑草などを抜いてきれいにする。自分たちでこれをしたら環境が悪くなる。など考えて行動する。			○									第三
180	・みんなが環境問題が深刻な事に気が付いていない。	・もっと知識を身に付ける。例)石油や石炭があと50~100年で無くなってしまふ事など。									○			第三
181	・落書きなどのイタズラ(公園の遊具など)。 ・歩道が狭い。	・夜だけ公園などを閉鎖する。キレイにペンキを塗り直す。											○	第三
182	空き地や道の木や草が伸びすぎている。	切ってください。											○	第三
183	遊ぶところがない。	公園を増やす。											○	第三
184	雨の日は遊ぶ場所が限られてきて、近くのコンビニまたはスーパー、ゲーセンなどにたまる中学生が多い。	もう少し雨の日などに小中学生が遊べる広い施設や体育館を作してほしい。											○	第三
185	駅の周りがうるさい。	パチンコやゲームセンターなどを減らす。居酒屋などを減らす。				○								第三

表 2.4.3 (5) 問題点と改善(解決)策(5)

番号	問題点	改善(解決)策	問題点・改善(解決)策のカテゴリー									学校名		
			1	2	3	4	5	6	7	8	9			
186	お菓子の袋やペットボトルなどのごみが落ちていところをよく見かける。	ごみ拾いをする機会を増やしたら良いと思う。参加人数を増やすために、ちょっとした商品や賞状を一番多く集めた人に渡したりしたら良いと思う。				○								第三
187	学校が大量の電気を使っている。	屋上などに太陽光パネルなどを設置。発電を行う。						○						第三
188	仮店舗をたてるために、わざわざ木を切り、スペースをつくる考え(まわりには、何もなく広いスペースがとれる場所があるにも関わらず)。	環境保護を第一優先にして考える。	○											第三
189	川が汚い。	ごみを捨てない。		○	○									第三
190	川が汚い。	川辺にごみ等を捨てない。		○	○									第三
191	川にごみが多い。	ごみを捨てたら罰金。		○	○									第三
192	川にごみが多い。	ごみを捨てないように呼びかける。川の近くにごみ箱を増やす。子どもではなく大人もごみをポイ捨てするのを見たことがあるので、大人にもっとちゃんとしてもらう。その後、子供に教育する。		○	○									第三
193	川の水がきたない。	そうじなどをしてキレイにする。		○	○									第三
194	環境が悪い。	ごみの分別をしっかりとやる。ごみのポイ捨てをしない。			○									第三
195	木などを無計画に切るところ。	今ある土地を利用する。	○											第三
196	空気をもっときれいにする。	ごみをちゃんとする。		○	○									第三
197	車で出かける人が多いため空気が汚くなる。	出かける時、自転車で行ける距離のときは、車ではなく、歩きか自転車でいく。					○							第三
198	京王線を地下化した。町の見た目が悪い(駅前など)。	京王線を高架にする。再開発をする。											○	第三
199	公園が少ない。	つくる。											○	第三
200	公園が少ない。												○	第三
201	公園などにポイ捨てをしない。	ごみ箱を置く。		○										第三
202	公園にごみが散らばっている。	自分でごみ箱に入れる。		○										第三
203	公園にごみ箱がほしい、なのでポイ捨て増加。	公園や道路にだれでも使えるごみ箱を作る。		○										第三
204	公園の遊具が少ない。	安全で楽しめるものを設置する。											○	第三
205	公園や道にごみが捨てられること。	道や公園にもごみが捨てられるところを作る。					○							第三
206	公園や緑地などの管理が、しっかりしていない、汚い。多摩川が汚い。駅の周りの治安が悪い。不審者が多い。	もっと管理者をたてて、監視するべき。掃除をする。もっと取り締まりを強化する。防犯意識を高め、カメラを設置。					○						○	第三
207	子どもの遊ぶ環境があまりない。	広場をもう少しふやせばいいと思う。											○	第三
208	ごみが多い。	拾う、捨てる。			○									第三
209	ごみが多い。	ごみひろいをする。			○									第三
210	ごみが多い。	公園などにごみ箱を置く。			○									第三
211	ごみが落ちている。	ポイステをしない。			○									第三
212	ごみが落ちている。	ごみ箱を増やす。			○									第三
213	ごみが落ちている。	ボランティアでごみを拾う。			○									第三
214	ごみが落ちている。	定期的にごみ拾いを行っていく。			○									第三
215	ごみが捨てられる。	公園や道のところにごみ箱がたくさんあるといい。			○									第三
216	ごみが街に捨てられている。品川街道などに緑が少ない。	ごみ箱を目立ちやすい場所に置いておく。調布駅や国領駅が再開発されているので、その雰囲気と同じようにした方がいいと思う。	○		○									第三
217	ごみが道にある。	ポイ捨てしない。			○									第三
218	ごみが路上に落ちている。	ごみ箱をもっと作る。			○									第三
219	ごみなどが落ちている。	いろいろな場所にごみ箱を配置する。ごみの多い所に、ごみの持ち帰りを推進する看板を設置する。			○									第三
220	ごみなど道路に落ちている物は、ボランティアなどで拾うことができるが、ポイ捨ては草むらだったり、見にくい所や自動はん売機のペットボトル専用やカン専用の所につめこんだり、投げ入れているので、ボランティアなどの団体ではそういうごみを取ることができないこと。	ごみ箱を設置したりすることしかできない。			○									第三
221	ごみのポイ捨て。	一人一人がごみ箱に捨てること。			○									第三
222	ごみのポイ捨て=環境破壊	公園などにごみ箱を設置して、きちんとごみ箱に捨てるようにする。柱などに紙を張って、ごみ箱に捨ててもらおうにする。			○									第三
223	ごみ分別、リサイクル。	分部するだけ。リサイクルするだけ、注意するだけ。改心しないのであれば、どんな手を使ってもいいから言う事をきかせる。			○									第三
224	ごみ問題騒音	周囲によびかけ。騒音による被害などを教え、改善を呼びかける。			○	○								第三
225	ごみをそのまま出すところがあり、カラスがよくそれを荒らす。カラスが巣でも作ったのか、カラスが最近多い。【絵の記入あり】	ごみはごみ箱の中に入れて外に置く。そうすれば、カラスもエサが少なくなり、場所を移動すると思う。【絵の記入あり】			○									第三

表 2.4.3 (6) 問題点と改善(解決)策(6)

番号	問題点	改善(解決)策	問題点・改善(解決)策のカテゴリー									学校名	
			1	2	3	4	5	6	7	8	9		
226	ごみをポイ捨てる人がいる。	いろいろな所にゴミ箱を設置する。			○								第三
227	ごみを道に捨てるからいやだ。				○								第三
228	ごみを道に捨てる人や、タバコを道に捨てたりする人が多い。	人々がごみを捨てないように持ち帰るか、ゴミ箱に捨てるようにもっと呼びかけたり、ポスターをはる。			○								第三
229	コンクリートが多い。	緑を増やす(公園など)。	○										第三
230	災害防止のためとはいえ、川岸をコンクリで固めすぎ。小さな生きものの住む場所が失われてしまっている。	工事をやめることはできないけれど、生きものが少しでも住みやすくするために、川を汚さないことを常に意識する。結局、1人1人の意識の問題。										○	第三
231	最近よくポイ捨てしている人をよく見る。	町のいたる所に、ゴミ箱を作る。			○								第三
232	自然が公園などの場所に少ないこと。	公園にたくさんの木を植えれば良いと思う。	○										第三
233	自然が少ない。 自然の所でエアガンをやっている小学生がいた。	もっと自然を増やすため植林すべきだと思う。 自然の所を立ち入り禁止にするべき。	○									○	第三
234	自然が少なく、マンションが多い。	どんどん新しくマンションを建てるのではなく、自然を増やす(植物を植える)。→そうすれば動物もやってくる(そのためにも、人がいなくなる(移住)することもしないと...)。 植林を学校の授業等で義務的に行う。また、ボランティア活動を増やす。	○										第三
235	自然が少ない。		○										第三
236	自然がちよっと少ない。	植物を植えること。	○										第三
237	自然が身近にない。	木をもっと植えてほしい。	○										第三
238	自然情報館や深大植物公園などのイベント情報をあまり耳にしない。	子ども達の興味がある事を今まで以上に学校に手紙として配布したりする。								○			第三
239	自転車置き場が少ない。	もっと作る。										○	第三
240	自転車を止めてはいけない場所に止めている人がたくさんいるので、もっときつい決まりを決めた方がいいと思います(もう、絶対に止めたくなくなるような)。										○		第三
241	自転車を停める場所が違う。	停めていたら罰金!!近くに防犯カメラをつける。みたら、誰かがそこに行く。								○			第三
242	市の体育館が遠い。	もう一つ作る。										○	第三
243	杉が多すぎる。	植えかえる。	○										第三
244	少し調布市は、緑が少なくなってきていて、建物が多くなっている。	もっと緑を増やせるように、種をいっぱい植えていったら、いいと思います。	○										第三
245	タバコの吸いがら。	タバコを吸わない。			○								第三
246	たばこの吸い殻が多い。	たばこは決められた場所以外で吸うのを禁止にする。			○								第三
247	たばこの吸いがらや、ポイ捨てされるごみをよくみる。	ゴミ捨て場をもっと増やす。			○								第三
248	タバコのポイ捨てかごみのポイ捨てなどで、道がきたなくなっている。	ポスターとかで少しでも減らす。			○								第三
249	多摩川がきたない、くさい。			○		○							第三
250	多摩川がきたない。	多摩川に「ポイ捨て厳禁」などという看板を掲示すればいいと思う。		○	○								第三
251	多摩川周辺のごみが多い(ポイ捨て)。	ゴミ箱の数を増やす、ポスターなどの呼びかけ、ゴミ拾いなど。		○	○								第三
252	多摩川で工事をやっているが、それ以降、魚がみられない。	バスの駆除などはしなくても釣りをする人が釣って、どっかの施設に持っていけばいい。										○	第三
253	多摩川に外来種が増えている。	自分がかっていた魚を多摩川に捨てない。										○	第三
254	多摩川にごみがたくさん落ちている。	ゴミ箱を増やす。自分からごみを拾う。		○	○								第三
255	多摩川にごみがたくさん落ちている。	多摩川にごみを落としたり、罰金とかルールを作ったらいいと思います。		○	○								第三
256	多摩川の水がきたない事。	自分は、四万十川(四国)のような所が好きです。川の周りは静かで、ウグイスなどの鳥の鳴き声がよく聞こえるような所があれば、自然と川を汚したくないという気持ちになると思います。なので、川をキレイにすれば、地域の人の心が変わってくると、自分は思います。		○	○								第三
257	多摩川の水や、川岸にごみがあったりする。	川をきれいにする(ゴミ拾いなど)をする機会を増やす。		○	○								第三
258	中高生の遊ぶ場所が少ない。	何も使われていない場所を開拓。										○	第三
259	調布駅周辺のたばこの煙が多く、子供たちに副呼吸を吸わせてしまい、悪影響を与えてしまっている。	一角に設けられている、タバコを吸う場所に屋根をつけて、BOXの形にして、外に煙が漏れないようにする(とにかく、駅周辺でのたばこを吸う人の煙がきたないで、それをどうにかしてほしいです)。							○				第三
260	調布駅の周辺にごみが落ちている。	ゴミ拾い。			○								第三
261	調布駅付近で排気ガスやタバコの煙がくさい。	調布駅付近だけでも良いので、緑を増やしてほしい。また、きつ煙所は、人通りの少ない奥の方につけてほしい。	○			○							第三
262	調布の駅の周りに植物が少ない。	植物を多くする。	○										第三
263	どうろなどをもっと整備したり、児童館なども同じ。										○	○	第三
264	道路にごみが落ちている。	ボランティアをもう少し作る呼びかけをする。				○							第三
265	鳥のフンが落ちていてそのままになっている。	そうじをする。			○								第三

表 2.4.3 (7) 問題点と改善(解決)策(7)

番号	問題点	改善(解決)策	問題点・改善(解決)策の 카테고리									学校名			
			1	2	3	4	5	6	7	8	9				
266	何のためにやっているかわからないことがある。例)多摩川の一部を工事している。	住民に理由を説明して、納得してから工事などを進めることが大切だと思う。												○	第三
267	ぬくもりのまちと言っているが、どこらへんがぬくもりのまちなのか分からない。	そう名乗らない。												○	第三
268	人が歩く場所、スーパーの近くとかにごみが落ちていたりするので、そこが問題点だと思います。	ごみはしっかり持ち帰る事を1人1人心がける。自分のごみでなくても持ち帰ることも改善につながると思います。				○									第三
269	普通にポイ捨てをする人がいる。	ポイ捨てによる被害を減らす。				○									第三
270	ポイ捨て。	みんながごみを入れががるようなごみ箱を作る。				○									第三
271	ポイ捨て。	ごみはごみ箱に分別して捨てる。				○									第三
272	ポイ捨て。	公園につくくらいごみ箱を置く。				○									第三
273	ポイ捨てが多い。	ごみ箱を多く設置する。				○									第三
274	ポイ捨てがたくさんある。	一人一人が意識し、注意することが大切。				○									第三
275	ポイ捨てが目立つ。	一人一人がまず、捨てないように心がけることか、ごみを見たら捨てる人が増えればなくなると思う。				○									第三
276	ポイ捨てされたごみが多い。	1人1人が心がける。				○									第三
277	ポイ捨てをする人が多いので、ごみがそこら中に落ちている。	ポイ捨てしている人を見かけたら注意する。				○									第三
278	ポイ捨てをする人がいる。	ポスターなどを張ってみんなに意識を持たせる。				○									第三
279	ポイ捨てを徹底してなくす。	もっと市の色々な所にごみ箱を設置する。				○									第三
280	ポイ捨てをよくする人がいる。川が汚い。	ごみ箱を周りにもっと増やす。川をキレイにするボランティアなどをやる。		○	○										第三
281	ポイ捨て、タバコのポイ捨て、タバコの価格。	いくつもごみ箱を置く。タバコは吸わない。もっと高くなった方がいい。				○									第三
282	歩道の白い線から出て歩いている大人をよく見かける。	注意を呼びかけるなど。								○					第三
283	町中に落ちていたりするごみをよくみかける。	1人1人がごみを決められたところに捨てるように意識させる。				○									第三
284	マンションや住宅街が多くて緑がない。多摩川にごみが多い。	家で植物を栽培。ごみ箱を設置する。	○	○	○										第三
285	道に落ちるごみが多い。	1人1人が気をつける。意識する。ごみはごみ箱に捨てると常日頃から考える。道に落ちているごみなどは、みんな拾ってはくれないので、まず落とさない。				○									第三
286	道にごみが落ちていたり、ごみを分別していない人がいる。	1人1人が環境を意識して実行すること。				○									第三
287	道にごみが落ちていたりして、マナーを守らない人がいる。	声かけなどをしたり、ごみ拾いなどの活動を進めていく。				○									第三
288	道にごみが落ちている。	ごみ拾い。				○									第三
289	道にごみが落ちていることがたくさんある。	皆が意識し、落とさないようにする。				○									第三
290	道のごみ。	ポイ捨てしない。				○									第三
291	緑があまりないところ。	・もっと自然を増やす。 ・木を植える。 ・自然をこわさない。	○												第三
292	緑が少ない。	・木を植えるプロジェクトをする。 ・使っていない家などの土地を緑の多い公園にしたり、空気の澄んでいる散歩道にする。	○												第三
293	緑が少ない。	緑を植える。	○												第三
294	緑が少ない事。	学校や公園などに花や木を植えていく事。	○												第三
295	緑が全体的に少ない。	植物を植える。	○												第三
296	むだになる資源。	3Rを実行するよう呼びかける。							○						第三
297	よく道にごみが落ちている。	ポイ捨てしないようにポスター等で呼びかける。				○									第三
298	夜、窓を開けて寝ていると、バイクの音や若い人の笑い声がうるさい。注意している人を見かけたが、やめない。	・夜間、パトロールする人を増やす。「静かにしよう」と呼びかける。騒音被害で訴える。							○						第三
299	冷暖房設備をもう少しひかえる。	植物や自然のカゲを利用して涼しい空間をつくる。							○						第三
300	レジぶくろをたくさん消費する。	エコバッグを使うように呼びかける。							○						第三
301		・小さい子には絵本で教える(紙しばい)。 自然がなくなるこの世の中で、環境がなくなるこの世の中で、ぼくたちは何をしたらいいのか。											○		第三
302														○	第三
303	・野川がとてもきたない。特に上流がきたないと、中流、下流もきたなくなり、川で遊べない。 ・治安が悪いわけではないが、変質者が多い。	・地域の学校と団体に清掃活動を一年に一回はさせる。 ・パトロールの強化。		○	○										第四
304	・野川の清掃(生い茂った植物など) ・道路の舗装	・学校などで清掃活動を行う。 ・わからない				○							○		第四
305	①歩道が狭い。 ②公園の遊具が少ない。	①広くする。 ②増やす。											○	○	第四

表 2.4.3 (8) 問題点と改善(解決)策(8)

番号	問題点	改善(解決)策	問題点・改善(解決)策の 카테고리									学校名		
			1	2	3	4	5	6	7	8	9			
306	いらぬ信号機がたぐさぬある。	信号機を減らす。										○		第四
307	学校のプールをもっと深く。	深くする。											○	第四
308	川が汚い。	きれいにする。		○	○									第四
309	川にごみが多く捨てられていること。	川のそうじなどをする。		○	○									第四
310	川のごみがなくなるようにしてほしい。	ごみ拾いをする。		○	○									第四
311	川のごみをなくしてほしい。	ごみ拾いをする。		○	○									第四
312	決められた場所に自転車が置かれていない。	前にテレビで見た「目」だけが描いてある看板を置く。								○				第四
313	空気が悪いところがある。	きちんとかんきできるようにする。				○								第四
314	クリーン作戦などの掃除(地域の)をもっとたくさん回数行う。	もっと時間を増やしたり、たくさんごみ箱を設置する。			○									第四
315	公園が少ない。	公園を増やす。											○	第四
316	公園が小さい子供用の遊具ばかりで遊べない。												○	第四
317	公園におかしの袋のごみのちらかしが多い。だから小さな子などが食べてしまう。	公園のはじなどに小さなごみ箱などをつける。			○									第四
318	交番の位置。	増やすか移動する。											○	第四
319	ごみが落ちているところがある。	公園にごみ箱を設置。			○									第四
320	ごみが捨ててあるところが多い。	拾う。			○									第四
321	ごみが道に落ちている。	1人1人がそういうことをしないように心がける。ごみ拾いをする。			○									第四
322	ごみが道に落ちているところがある。	ごみ収集車の活用。			○									第四
323	ごみの分別をきちんとできていない。	きちんとやる。			○									第四
324	ごみのポイ捨てが多く、きたない。	ごみひろいする。			○									第四
325	ごみを減らす。	学校のみんなでボランティア活動に参加する。			○									第四
326	ごみをポイ捨てしない。	適当に捨てるということは、ごみ箱がないからということだから、町内にもっとごみ箱を増やす。			○									第四
327	自然がどんどん減っている。	公園も作りつつ自然も残したい。		○										第四
328	自販が少ない。	増やす。											○	第四
329	体育館が小さい。学校の行事として(授業)、環境について学べない。	体育館を大きくする。学校の行事として多摩川自然情報館に行ったり、環境の調べ学習をする。								○			○	第四
330	多摩川をもっときれいにする。	ごみ拾い。		○	○									第四
331	野川がきたない。	きれいにする。		○	○									第四
332	野川がきたない。	ごみ捨てない。		○	○									第四
333	野川汚い。	川の掃除をする。		○	○									第四
334	野川とかにごみがある。	ボランティアで活動し、ごみを取る。		○	○									第四
335	一つ一つの街とかで色々なイベントとか、祭りとかやらないと、今の自分達が自然の大切さなどがわからないまま成長する。	ただ話を聞くだけではなく、自分達で体験できるイベント会などをやる。話だとねる人や、まじめに聞く人が少ないと思う。								○				第四
336	ポイ捨てが多い。	ごみ箱を多くする。			○									第四
337	ポイ捨て禁止。	ポイ捨て禁止の工夫改善。			○									第四
338	ポイ捨てされているごみが多い事。	罰金。			○									第四
339	道にごみを捨てない。	ごみ箱の設置。			○									第四
340	緑が少ない。	木をたくさん植える。	○											第四
341	ムダなごみを出さないように、どうすればいいのか伝える。	コンビニのレジ袋を有料に。LED電球に頑張る。			○			○						第四
342	森の中にごみを捨てる人がいる。川の中にごみを捨てる人がいる。	その被害について説明して、罰金などについて決めた方がいいと思う。			○									第四
343	森や川などにごみがたくさんある。タバコのごみが落ちている。	しっかりと分別し、ごみ箱にちゃんと入れる。			○									第四
344	問題点はないと思う。ほかの市に比べると緑が多いから。			○										第四
345	若葉の森をなくさない。	残してほしい。		○										第四
346	私が昔から遊んでいた緑に囲まれた場所が工事されてしまったこと。緑を大切にしようと言っておきながら、工事をしていて、言っているだけで実行性がないこと。	その土地の所有者がいるなら仕方ないけれど、できるだけみんなで協力して署名運動など呼びかけ。		○										第四
347	・川の水が汚い。 ・くさい。	・できないと思う。		○	○									第五
348	・子供たちが環境について興味を持たないこと。	・チラシなどで宣伝。								○				第五
349	・調布駅周辺の駐輪所不足。 ・運動場の不足。												○	第五
350	・ビルやお店ばかりだけ。 ・車の騒音、振動の防止。	もっと緑を増やして、自然を豊かにする。 ・車やバイクの騒音、トラックの振動が家に伝わりにくいようにする。		○		○								第五
351	・道の形がいびつ。 ・学校がせまく、ポロい。	・少しづつ工事をして直してほしい。 ・建て直してほしい(特に体育館)。										○	○	第五
352	①歩道に自転車がたぐさぬ(調布駅付近)。	①自転車が置いてあるところにリターン式(お金を入れて、また返ってくる)を置く。								○				第五
353	CO2	1人1人が協力して行う。						○						第五
354	遊ぶ所が少ない。	公園をつくる。											○	第五
355	遊べる所が少ない(お店や公園など)。	遊べる所を作る(お店や公園など)。											○	第五

表 2.4.3 (9) 問題点と改善(解決)策(9)

番号	問題点	改善(解決)策	問題点・改善(解決)策の 카테고리									学校名		
			1	2	3	4	5	6	7	8	9			
356	あぶない所(五差路)をもっと整備してもらいたい。	補強工事とか。										○		第五
357	あまり緑が少ない。 動物、虫が少ない。 そしてごみ自然が汚い。	木を多くする、森林を多く。 リサイクル、その物にあった所にする。	○		○									第五
358	家が多い、水がおいしくない。	家をへらす、水おいしくする。											○	第五
359	違法駐輪が多い。	ポスターなどで呼びかけ。							○					第五
360	映画館がない。	作る。											○	第五
361	カーブミラーがなかったりする所がある。	カーブミラーを取り付ける。										○		第五
362	街灯が少ない。	街灯を増やす。										○		第五
363	かげが少ない。	木をたくさん植える。	○											第五
364	川など公園などきたない。	ボランティアなどを増やす。			○									第五
365	球技が出来る公園が少ない。 道のはじめに水路がほしい。 公園に使う土地を増やす。	つくる つくる つくる											○	第五
366	空気がきたない。	ごみの分別。			○	○								第五
367	車などを道の端に止めること。	警察官を近くに置いて見張る。							○					第五
368	ゲームセンターがなくなり、パチンコ店が増えたこと (子供の遊び場が減った!!)。	ゲームセンターを増やす。											○	第五
369	公園が少ない。	公園を増やす。											○	第五
370	公園がない。												○	第五
371	公園にごみがいっぱい落ちている。 公園が夜になると暗くて怖い。 公園が狭く少ない。 テニスコートなどが大人しか使えない。	ごみ拾いをする、収集車が運ぶ。 電灯を付ける。 公園を広げて多くする。 子どもも使えるようにする。			○								○	第五
372	公衆トイレがきたない。 スポーツで遊ぶとこがない。	そうじをする人を増やす。 遊ぶ所を増やす。			○								○	第五
373	ごみが多い(道端に)。 遊べるところが少ない。	拾う。			○									第五
374	ごみがおちている。	拾う。			○									第五
375	ごみが落ちていること。	ごみをちゃんと捨ててほしい。			○									第五
376	ごみがポイ捨てされている。	ごみを捨てない。			○									第五
377	ごみ捨て。	しっかりとごみ箱に捨てる。			○									第五
378	ごみのポイ捨て。	ポスターとかはる。			○									第五
379	ごみのポイ捨て。	分かりません。			○									第五
380	ごみのポイ捨てなど。	自分で、しっかり持って帰るか、ごみ箱を用意する。			○									第五
381	自然が少ない。もうちょっと自然と触れ合うところを作してほしい。	公園を作る(多摩川とかに)。	○											第五
382	自転車、点字ブロックを防いでいる。	もっと厳しくする。							○					第五
383	自転車を止める場所が少ない。	増やす。							○					第五
384	税収が少ないから市のサービスが地味。	府中のように、もっと大きい会社を集め、税収を増やす。集める方法は市の方で。											○	第五
385	騒音がうるさい。	あまりスピードを出しすぎないように。				○								第五
386	そもそも自然を大切にと言っているけど、結局人類が自然を壊しているだけではないか。	なし。											○	第五
387	体育館(市民)が少ない。	体育館(市民)を増やす。											○	第五
388	たばこのすいがら。	たばこを売らない。			○									第五
389	タバコのポイ捨て、コンビニで買った品物の置き捨て。	ポスターなどで注意を呼びかける。			○									第五
390	多摩川が汚い。	ごみを捨てないことを言う。		○	○									第五
391	多摩川が汚い。	?		○	○									第五
392	多摩川が汚い。	川にごみを捨てないようにする。		○	○									第五
393	多摩川でトランペットを夜おそくまで吹いている人がいる。	誰かが注意をすればいいと思う!!				○								第五
394	多摩川にごみを捨てる人がいる。	ごみをみんながすてないことを意識してもらおう看板を作る。			○									第五
395	多摩川のごみが多い。				○									第五
396	多摩川の水がきたない。	きれいにする。		○										第五
397	道路の信号を無視する人が多い。	信号無視禁止と書く。【図の記入あり】							○					第五
398	犯罪が多い。	犯罪をしない平和な市にする。たとえば、暗く、細い道などなくす。											○	第五
399	ポイステ	捨てない。			○									第五
400	ポイ捨て。	ポイ捨てをされないよう、色々な場所にごみ箱を設置する。			○									第五
401	ポイステが多い。	見つけた人がひろってあげる(ポイステをしない)。			○									第五
402	ぼいすて禁止	ポスター			○									第五
403	ポイステする人がいる事。	ポイ捨てしない。			○									第五
404	放置自転車	無料の駐輪場をもっと増やす。							○					第五
405	ボールなどで遊べる公園が少ない。	遊べるようにすればいい。											○	第五

表 2.4.3 (10) 問題点と改善(解決)策(10)

番号	問題点	改善(解決)策	問題点・改善(解決)策のカテゴリー									学校名		
			1	2	3	4	5	6	7	8	9			
406	マンホールがドブ臭い。 タバコくさい。 車のCDがうるさい。	? 道でのルールも決める。 マナー				○		○						第五
407	水がおいしくない。	水をおいしく。		○										第五
408	道がガタガタな所があること。	直す。										○		第五
409	もう少し、自然を増やす。 多摩川をきれいにする。			○										第五
410	夜おそくにバイクに乗った人たちの騒音。					○								第五
411	・野川にいる腐ったコイ。 ・ボールが使える公園が少ない。	・腐ったコイをすてる。 ・ボールが使える公園を増やしてほしい。		○	○								○	第六
412	・野川の水が汚い。 ・野川の周りや中にゴミが落ちている所。	・ごみ拾いをボランティアでする。 ・ごみを捨てない(分別してごみ箱にしっかり捨てる)。		○	○									第六
413	植込みの陰などにゴミを捨てる人がいる。	柵を作り、捨てられないようにする。			○									第六
414	ガス臭い。空気をきれいにしてほしい。緑が少ない。	木を植える(甲州街道の木を伐採しないでほしい)。太陽光パネルなどの再生可能エネルギーを使いたい(高いけど設置してほしい)。	○			○								第六
415	木が少ない。	木を植える。	○											第六
416	木や緑の少ない公園が多い。	木を植えたり、緑を作る。花を植えるなど。	○											第六
417	空気が汚い。 緑が少ない。	木を植える。	○			○								第六
418	空気がくさい。	自然を多くしよう!!				○								第六
419	公園や施設を作るのはいいと思いますが、森や自然が失われている。	山の中にアスレチックを作ったりするのがいいと思う。											○	第六
420	工事の音がうるさく、迷惑している。	音が小さくなるような設備にする。					○							第六
421	工事の音や、夜バイクの音がうるさい。 自然環境は問題ないと思う。	わからない。					○							第六
422	子どもが使う公園に、ごみやたばこの吸い殻が落ちていること。	非衛生的なので、呼びかけたり、見かけた人が注意する。				○								第六
423	ごみが落ちている。	ごみ拾いを徹底する。				○								第六
424	ごみが落ちている。	ごみをそこらへんに捨てない。落ちているごみを捨てる。				○								第六
425	ごみがきたない。	きれいにする。				○								第六
426	ごみの分別。	リサイクル。				○								第六
427	サッカーなどの球技ができる公園が少ない。 ポイ捨てが多い。	球技ができる公園を作る、もしくは今ある公園を球技をやってもいい状態にする。 ポイ捨てを条例で禁止する、もしくは、呼びかけなど。				○							○	第六
428	自然が少ない。 川が汚れている。 生きものが少ない。	花畑や自然がいっぱいあると所があればよい(つくる)。 有害なものを流さない。 環境をよくする。	○	○									○	第六
429	自転車が決まった場所にとめられていなくて、通りにくい(特に駅前)。	駐輪できる所を作る。							○					第六
430	自転車の駐輪が雑。	まわりのことを考える。							○					第六
431	柴崎駅付近のふみきりがあかない。	地下通路建設など。										○		第六
432	信号の長さがバラバラ(待ち時間)。	信号の長さを均等にす。										○		第六
433	タバコがあちこち捨ててある。	大人たちがタバコを吸わなければいい。				○								第六
434	たばこを吸う人が多い。	たばこを吸うスペースを作る。				○								第六
435	小さな子に環境状態を理解してほしい。	学習してもらう(イベントなどで)。										○		第六
436	近くに公園がない。 近くに体育館がない。	広い公園をたくさん作ってほしい。 パトミントンができるような屋根の高い広い(6面くらいはれる)体育館を作ってほしい。											○	第六
437	駐輪場に、自転車を止めたくても、ない時がある(調布のパルコなど...)。	駐輪場をつくる(利用者が多い場所)。											○	第六
438	道路のごみが多い。	定期的にごみひろいのボランティアを募集し、ポイ捨てをさせないような環境を作る。				○								第六
439	特になし。	野川をきれいになりたい。		○										第六
440	ない	現状維持											○	第六
441	野川がきたない。	きれいにする。		○										第六
442	野川が汚い。	ごみ拾いなどを行う!		○										第六
443	野川が汚い。			○										第六
444	野川が汚い。 駅がせまくるしい(調布)。	住民からアンケートをとる。		○									○	第六
445	野川が臭い&きたない。	下水を流さない。ごみを捨てない。水質管理をしっかりとする。		○	○	○								第六
446	野川などにゴミを捨てる。	ゴミを捨てられないくらいきれいにする。				○								第六
447	野川にある魚などの死体をなくす。	業者が処理する。				○								第六
448	野川にごみがある。	ごみを拾う。				○								第六
449	野川にごみがある。	きれいにする。				○								第六
450	野川にごみが捨てられていることがある。	ポスターをはったり、呼びかけをしたりする。				○								第六

表 2.4.3 (11) 問題点と改善(解決)策(11)

番号	問題点	改善(解決)策	問題点・改善(解決)策の 카테고리									学校名	
			1	2	3	4	5	6	7	8	9		
451	野川や多摩川にごみ捨てられている。	その近くにごみ箱を作る。			○								第六
452	ポイ捨てが多い。	ごみを拾うグループをホームページで応募して作る。→週1くらいのペースで決めた曜日にごみを拾う。一部の範囲ごとにグループを作る。1つのグループにリーダーを置く。			○								第六
453	ポイ捨てが多い。	ポイ捨てをしない。			○								第六
454	ポイ捨てが多い。 害虫が多い。	・公園とかを増やして、ごみ箱をつける。 雑草をかる。			○								第六
455	ポイ捨てをしている。	ごみ箱に捨てる。			○								第六
456	道が狭い。 野川が汚くなっている。	道を広げる。 川にごみを捨てない。		○	○						○		第六
457	道にごみ等が落ちている。	もっとポイ捨てについて意識する。			○								第六
458	緑が少ない。	駅前の桜切ったりするのをやめた方がよい。	○										第六
459	緑が少ない。	緑を増やす(植物園など)。	○										第六
460	緑や公園が減ってきている。 ポイ捨てが多い。	緑や公園を残しつつ、他の開発をする。 道路にごみ箱を置く。	○		○								第六
461	もっと木を増やす方がいい。 電柱が少ない。	・木をいっばい一杯植える！ 電柱を増やす！	○									○	第六
462	夜中の騒音(音楽を大きく流しならバイクを流す)。	警察官の配備。				○							第六
463	・調布市指定のごみ袋がある。けれど、それにごみを入れて出していない。 分別をきちんとしていない。	もう少し細かい分別をする。その紙を配布する。			○								第七
464	CO2	車を水素、電気などの自動車にする。木など緑を増やす。	○				○						第七
465	空き地がまだあること。	空き地を家にしたり畑にしたりする。										○	第七
466	害虫(虫)の駆除。	殺虫剤をまく。										○	第七
467	学校の設備をもっと充実した方がよい。	校庭を広くしてエアコンのないところにはエアコンを設置する。										○	第七
468	川にごみが多い。	家に持ち帰って捨てる。			○								第七
469	木が少ない。	植える。	○										第七
470	空気がきたない(都会ほどではない)。 レジ袋をもらったりしている。	もっと木を植えればよい。 レジ袋をもらわない人は、お会計で2円引いてもらえる。	○					○					第七
471	車が多い。	近い場所に行く場合、自転車で行く。					○	○					第七
472	公園にごみ箱がないため、ポイ捨てする人が多い。	公園にごみ箱を置く。			○								第七
473	甲州街道などの大きな道路の騒音。	道路沿いに木を植える。	○				○						第七
474	ごみが道に落ちている。すてられている。	調布市民全員が、ごみはごみ箱にすてるという気持ちを持つてものを買う。				○							第七
475	ごみについて。	ポイステをしない。			○								第七
476	ごみの分別。	家でも分けて捨てる。			○								第七
477	選挙の直前になると、選挙の車が学校の近くまで来てうるさい。	学校周辺をさけて通る。					○						第七
478	タバコのポイ捨てとかを徹底して、ごみに関してキレイを求める。 学校行事やイベントなどで自ら草花を、あるスペースに植えてもらうようなイベントを開催して、草花がキレイに咲き、イベントに参加した人も草花の大切さとか愛情がわくと思う。		○		○								第七
479	タバコを道ですう。	タバコを喫煙ルールなどのところでしか吸ってはいけないようにする。					○		○				第七
480	登下校の道によく鳥やカエルが死んでいて、しばらく放置されている。	だれが管理するのかしっかり決める。				○							第七
481	野川・多摩川のポイ捨てが多い。	多摩川は少年野球チームがやっているが、野川は「捨てるな！」のポスターを張る。			○								第七
482	野川がきたなくなっていると思います。	野川にごみなどすてない。			○								第七
483	野川に自転車などが捨ててある。	撤去、禁止の張り紙。			○								第七
484	野川のサイドの草。	常に少なくする。										○	第七
485	畑が少なくなっていると思います。	マンションばかり建てない(メリットがあるならいいと思うけれど)。	○										第七
486	ポイ捨て。	ごみ箱を増やす。			○								第七
487	ポイ捨て。	ごみ箱に入れる。			○								第七
488	ポイ捨て。	やめる。			○								第七
489	万引き。	警戒を強くする。										○	第七
490	道がきたない。	ポイ捨てをしない。道に長居しない。			○								第七
491	夜、カニ山がうるさい(ばくちみたい)。	警察などの立ち入り。					○						第七
492	夜の公園に集まる若者や夜中にバイクを走らせている人がうるさい。 6月1日に自転車の法律が変わったが、その変化と調布市の環境が合っていない。	パトロールをしっかりする。 自転車専用道路を作る。甲州街道の自転車のスペースを広げる。					○					○	第七
493	・川の水が汚い。 ・雑草が多い。 ・タバコのポイ捨てをする人がいる(歩きタバコなども)。	・雑草めき活動を行う。雑草が生えない薬をまく。 ・罰金制度を作り、呼びかけをする。		○	○								第八

表 2.4.3 (12) 問題点と改善(解決)策(12)

番号	問題点	改善(解決)策	問題点・改善(解決)策の 카테고리									学校名			
			1	2	3	4	5	6	7	8	9				
494	・ごみがそこら中に落ちている。 ・自然があるところに、建物をたてている。 ・木々が少ない。	・ごみ箱の設置数を増やす(店舗等だけではなく)。 ・自然の少ないところに建てれば良いと思う。 ・植林活動を積極的にすれば良いと思う。	○		○										第八
495	・ポイ捨て ・ごみ ・違法駐車	・ポイ捨てをなくす。 ・分別する。 ・正しいところに駐車する。			○				○						第八
496	・緑が少ない。 ・ごみが多い。	・木などを植える。 ・ごみひろいをする。	○		○										第八
497	空き缶を捨てる場所がいっぱい。	定期的に回収。			○										第八
498	遊ぶ所が減っている。	新しい建物を建てない。												○	第八
499	川が汚い。	川にすてない。		○											第八
500	川にごみがすてである。 道に犬のフンがある。	月に1回くらい、川に入ってごみを取る。フンなど、しっかり持ち帰ってもらって、捨てるように呼びかける。				○									第八
501	きたない。	そうじする。				○									第八
502	貴重な緑をごみのポイ捨てなどでこわす人がいる。	緑が減ったらどんな被害があるのか知るべき。	○		○										第八
503	公園が減っていて、自然が少なくなっている。	自然を増やす活動をして、公園も減らさないようにする。	○												第八
504	ごみが多い。	ごみを捨てないよう呼びかけ。				○									第八
505	ごみが多い。	みんなで、ごみを拾う活動をつくる。				○									第八
506	ごみが多い。ポイ捨てのカンなどが多い。	ポイ捨て禁止のポスターなどを貼る。				○									第八
507	ごみが落ちている。	ごみひろいを行う。				○									第八
508	ごみがたくさん落ちている。	ごみ拾いをする。				○									第八
509	ごみのポイ捨て。	ごみ拾い。				○									第八
510	ごみのポイ捨て。	決められた所に分別してきちんとすてる。ごみ箱を設置する。				○									第八
511	ごみのポイ捨て。	しっかりとごみ箱へ。				○									第八
512	ごみを川などにすてる。	すてないようにする。				○									第八
513	ごみをポイ捨てをする人がいる。	ポイ捨てをした人をみたら注意する。				○									第八
514	自然がない。	自然を増やす。	○												第八
515	住宅地が増えて、緑が減る。	家をつくりすぎない。	○												第八
516	設備の旧式化が進んでいる。	設備の改修。												○	第八
517	たばこなどのポイすて。	呼びかける。				○									第八
518	団地の取り壊しで音がうるさい。空気がほこりっぽい。	水をまきながらこわす。					○								第八
519	駐車場などが増えて、自然がへってきている。	自然を大切にすてる。		○											第八
520	花火大会後のごみ。	ごみ箱をいろんなところに設置する。				○									第八
521	ポイ捨て。	ごみひろい。				○									第八
522	ポイ捨て。	ちゃんとごみ箱にする。				○									第八
523	ポイ捨て。	ごみ拾いする。				○									第八
524	ポイ捨てが多い。	ごみ箱に捨てる。				○									第八
525	ポイ捨てが多く、ごみが道ばたにおっこちているということがある。	ポイ捨てをしなくて、ごみ箱にちゃんと入れる。				○									第八
526	ポイ捨てする人がいる。	ごみ箱をたくさん設置する。				○									第八
527	放置自転車	放置しない。							○						第八
528	ほそい道などで車がたくさん走っていること。	調布市から車をなくす。												○	第八
529	道で遊んでいる人がいる。	公園やテニスコートを増やす。												○	第八
530	緑が少ない。	木を増やす。	○												第八
531	緑が少ない。	木を植える。	○												第八
532	森などの緑が減っている。	紙などをむだ使いしない。なるべくエコマークなどが表示されたリサイクル商品を買う。	○					○							第八
合 計			70	56	294	37	17	27	13	24	98				

注1：表中のカテゴリ欄の番号は下記を示す。

1：緑，2：水質，3：ゴミ・清掃，4：大気・悪臭等，5：省エネ等，6：マナー，7：学習・体験，  
8：交通，9：その他

注2：意見は、原則として原文のまま掲載している。ただし、個人名・企業名等プライバシーに関する記述または不適切な表現がある場合は、該当部分あるいは全文を削除している場合がある。

## 5 まとめ

### (1) 中学生と環境

- ①「自転車は決められた場所に駐輪する」や「決められた場所以外にごみを捨てない」など、基本的なマナーを伴う行動はおおむね実行されており、学校等での指導が行き届いている状況が伺える。
- ②また、「夜遅くに、大きな音を出さない」、「使っていない部屋の電気を消す」、「水を流しっぱなしにしない」、「ごみを分別して捨てる」など、安心してらせる生活の環境、省エネ、3Rに関する行動は、実行している比率が高く、日常生活の中にそれらの行動が浸透し習慣化している状況が伺える。
- ③「野生の生きもののことを知る」、「身近な川のことを知る」、「環境について学習する」などの行動は、実行している比率は低いものの、「これから実行したい」とする回答が40%前後を占めていることから、環境について知ることや学習に対する意欲が高いことが伺える。特に「エコマークなどが表示されたリサイクル商品を買う」では、50%近くの生徒が「これから実行したい」と回答していることから、それらに関する適切な情報提供を行うことによって、中学生の行動が促進されることが期待できるのではないかと考えられる。
- ④「みんなの力でより良い環境をめざす取組」以外のすべての項目において、「大切だと思う」が80%以上を占めた。このことから、ほとんどの生徒は、環境に対する重要性を認識し、保全する必要があることを理解していると考えられる。
- ⑤「庭やベランダに植物を植える」、「油や食べ残しの汚れを流しに直接ながさない」などの家事に関する項目で、女子生徒の実行比率が男子生徒よりも高かったが、このことは、これらの取組に接する機会の多さ等に影響しているのではないかと想像される。
- ⑥「野生の生きもののことを知る」や「身近な川のことを知る」など、野外活動に関する項目では、男子生徒の実行比率が女子生徒よりも高い傾向が見られた。これらについても、上記同様、接する機会の多さ等に影響しているのではないかと想像される。
- ⑦「みんなが利用しやすく、楽しめる公園がたくさんあること」について、小学校入学前に転入、小学校卒業前に転入した生徒で「大切だと思う」の回答割合が若干高い傾向が見られた。また、東部地域が、他の地域に比べて「大切だと思う」回答比率がやや高い傾向が見られた。
- ⑧「省エネ」や「3R」に関する項目で、中学校入学前に転入した生徒の「大切だと思う」回答比率が高い傾向が見られた。

### (2) 今後の課題

- ①「自然観察会に参加する」、「農業体験や環境ボランティアに参加する」、「公園や川、家の周りのごみ拾いをする」、「多摩川自然情報館などが開催する環境のイベントに参加する」などは「いつも実行している」回答者が5%に満たないものが多いことから、体験型の環境学習に係る魅力的なプログラムの開発とともに、積極的な参加を促す中学生向けの情報提供が今後の課題である。
- ②「暑さ対策のためグリーンカーテン（ゴーヤ等）を育てる」などは、「これからも実行したくない」との回答率が高かった。住居等の制約が考えられる半面、ひと手間かかる行動であっても、その行動が果たす役割の大きさなどを理解してもらえる中学生向けの啓発活動が課題である。
- ③「市報ちょうふ」や市のホームページなどにより、環境に関する情報が必要に応じてわかることについては、「大切だと思う」が60.5%と他の項目より低く、①・②と共通であるが、対象者である中学生に適切に伝え届かないこと、情報提供のあり方そのものに課題があると考えられる。
- ④「多摩川の自然を学ぶ多摩川自然情報館でのイベントや、こどもエコクラブなどの環境学習活動を通じて環境を守る大切さを伝えること」についても「大切だと思う」が63.4%であるのに対し、①のとおり実際に実行している回答者5%とギャップが大きいことを十分に認識し、このギャップを少しでもうめる対策について、①～③に掲げた課題等を着実に解決していく取組が求められる。

